

# 生駒市立幼稚園・保育園・こども園 教育・保育カリキュラム



令和6年4月作成

生駒市教育委員会  
生駒市教育部 幼保こども園課

# 統一カリキュラム

生駒市の基本理念		・「遊ぼう」「学ぼう」「生きよう」 みんなでいこまを楽しもう						
教育・保育目標		・生駒を愛し、21世紀を生き抜く力を身につけた、優しくたくましい子どもの育成						
教育・保育方針		・子育てを楽しめる地域づくり・21世紀を生き抜く優しくたくましい人づくり・すべてのライフステージで、楽しみながら学び、地域とつながる機会づくり						
発達 のめやす	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	幼児期の 終わりまでに 育って欲しい姿	育 教 み 育 た ・ い 保 育 資 質 に ・ お 能 い 力 で
	<p>おおむね6か月未満</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>首がすわり、手足の動きが活発になり、寝返り、腹ばいなど全身運動が活発になる。</li> <li>視覚、聴覚などの感覚がめざましく発達する。</li> <li>泣く、笑うなどの表情の変化や体の動き、喃語などで自分の要求を表現する。</li> <li>応答的に関わる特定の大人との間に情緒的な絆が形成される。</li> </ul> <p>おおむね6か月から1歳3か月未満</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>座る、はう、立つ、伝い歩きなどの運動機能が発達する。</li> <li>腕や手先を意図的に動かし、周囲に興味を示し、探索活動が活発になる。</li> <li>人見知りや激しくなる一方で、見慣れた人には積極的に関わりをもとうとする。</li> <li>自分への気持ちや簡単な言葉が分かり、意思を伝えようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指差し、身振り、片言で、自分の思いを盛んに伝える。</li> <li>二語文を話し始めようとする。</li> <li>歩き始め、手を使い、言葉を使おうになり、身近な人や身の回りのものに自発的に働きかけていく。</li> <li>運動機能の発達や新しい行動の獲得により、物のやり取りや取り合いなどの姿が見られる。</li> <li>玩具を実物に見立てる象徴機能が発達する。</li> <li>大人の言う事が分かるようになり、自分の気持ちを伝えたい欲求が高まる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自立心が芽生え、食事、排泄、衣類の着脱などの身の回りのことを、自分でしようとする。</li> <li>またぐ、くぐる、走る、よじ登る、押すなど、全身を使う動きや、つまむ、丸める、めくるなど、手や指を使うことができるようになる。</li> <li>周りの人の行動や生活体験などを模倣してごっこ遊びを楽しむようになる。</li> <li>自分のして欲しいことやしたいことを言葉で伝えようとする。また「なぜ」「どうして」などの質問が盛んになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全身を動かして様々な遊具や遊びに挑戦するようになり、活動量が増える。</li> <li>大人や友達言葉や動きを真似たり取り入れたりして遊ぶようになる。</li> <li>気の合う友達と遊ぶようになり、トラブルや葛藤を経験し、保育者の支援を得ながら相手の気持ちに気付いていく。</li> <li>順番に並んだり交代したりなど簡単なきまりがあることを知り、守ろうとする。</li> <li>身近な環境に目が向くようになり興味や関心をもって自分から関わろうとする。</li> <li>自己主張が盛んになり、自分の言葉で表現しようとする。</li> <li>イメージが豊かになり、日常生活で経験したことをごっこ遊びに取り入れなりきって遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣が身に付き、生活の流れに見通しがもてるようになる。</li> <li>運動機能が発達し「～しながら～する」という動きを同時にできるようにになり、いろいろな動きに挑戦するようになる。</li> <li>友達に言葉で気持ちや思いを伝え、共通のイメージをもって遊んだり、目的に向かって集団で行動したりするようになる。さらに、遊びを進展させ、楽しむために、簡単なきまりを作ったりする。</li> <li>自分で考えて判断したり、相手の思いや考えを認めたりするなど社会生活に必要な基本的な力を身に付けていく。</li> <li>他人の役に立つことを嬉しく感じ、仲間の中の一人としての自覚が生まれる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会生活に必要な基本的な力が身に付き、全身運動が滑らかで巧みになり、友達といろいろな運動遊びに意欲的に取り組むようになる。</li> <li>これまでの体験から、予想や見通しを立てる力が育ち、生活や遊びを自主的に進めていくことができるようになる。</li> <li>様々な知識や経験を生かし、創意工夫を重ね、友達と協同的な活動を展開し、目的を成し遂げる喜びを感じるようになる。</li> <li>友達やルールの存在を意識し、葛藤を経験する中で自分の感情をコントロールできるようになってくる。</li> <li>思考力や認識力が高まり、自然事象や社会事象、文字などへの興味や関心が深まっていく。</li> <li>自分の思いを言葉や様々な方法で表現できるようになる。</li> </ul>		
養護・ ねらい に関する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保健的で安全な環境を整える中で、一人一人の子どもの生理的欲求が、十分に満たされるようにする。</li> <li>○心地よい関わりの中で、一人一人が安心して過ごせるようにする。</li> <li>○伸び伸びと体を動かし、はう、歩くなどの運動をしようとする。</li> <li>○体の動きや表情、発声等により、保育者と気持ちを通わせようとする。</li> <li>○見る、触れる、探索するなど、人や周りのものへの関心をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保健的で安全な環境をつくり、一人一人の子どもが、健康で安全に過ごせるようにする。</li> <li>○一人一人と信頼関係を深める中で、安定して過ごせるようにする。</li> <li>○保育者との関わりの中で、自分の思いを動作や言葉で表そうとする。</li> <li>○探索活動を通し、聞く、見る、触れるなどを経験し、身近な環境に自分から関わろうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保健的で安全な環境をつくり、一人一人の子どもが、健康で安全に過ごせるようにする。</li> <li>○一人一人の子どもが、自分の気持ちを安心して表すことができるようにする。</li> <li>○保育者や友達と一緒に興味のあることや、身近に経験したことを模倣して楽しむ。</li> <li>○保育者に手助けされながら、自分の身の回りのことは自分でしようとする。</li> <li>○保育者との信頼関係の中で自分の気持ちを簡単な言葉で表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保健的で安全な環境をつくり、一人一人の子どもが、安全で快適に生活できるようにする。</li> <li>○保育者との信頼関係を基盤に、主体的に生活できるようにする。</li> <li>○保育者との信頼関係のもと、安心して過ごしながら基本的な生活習慣を身に付ける。</li> <li>○保育者や友達のかかわりながら、好きな遊びを十分に楽しむ。</li> <li>○いろいろなことに興味をもち、自分から関わってやってみようとする。</li> <li>○自分の思いや感じたことを言葉で伝えたり、自分なりに表現したりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保健的で安全な環境をつくり、快適に生活できるようにする。</li> <li>○生活の場や遊びの環境を整え、主体的に活動できるようにする。</li> <li>○いろいろな遊びに興味・関心をもち、保育者や友達とのかかわりを広げる。</li> <li>○自分の思いを様々な方法で表現したり、相手の言葉や動きを受け止めたりして遊ぶことを楽しむ。</li> <li>○身近な環境に自ら関わり、考えたり、試したりしてそれを生活や遊びに取り入れようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○安心安全な環境を維持し、一人一人の健康増進が積極的に図られるようにする。</li> <li>○一人一人をかけがえのない存在として受け止め、自分を肯定する気持ちが育まれていくようにする。</li> <li>○友達と共通の目的をもち、自分たちで遊びや生活を進めていく充実感を味わう。</li> <li>○自分なりに課題をもって、いろいろな活動に取り組む、やり遂げようとする。</li> <li>○自分らしさを発揮しながら、園生活を意欲的に過ごす。</li> </ul>	健康な心と体	<p>「知識・技能の基礎」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な生活習慣や生活に必要な技能の獲得</li> <li>・身体感覚の育成</li> <li>・規則性、法則性、関連性等の発見</li> <li>・様々な気付き、発見の喜び</li> <li>・日常生活に必要な言葉の理解</li> <li>・多様な動きや芸術表現のための基礎的な技能の獲得等</li> </ul>
	<p>生命の保持</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもの24時間の生活を把握し、一人一人に応じた対応を大切にしながら、健康に過ごせるようにする。</li> </ul> <p>情緒の安定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○応答的な触れ合いや言葉掛けを行いながら、一人一人が安心して過ごせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭と連携しながら、子どもに応じた適切な生活のリズムを大切に、健康に過ごせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○衛生的な環境を整える中で、身の回りを清潔に保つ心地よさを感じ、その習慣が少しずつ身に付くようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○わかりやすく手順や方法を示すなど環境を整えることで、身の回りの清潔や安全の習慣が少しずつ身に付くようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○見通しがもてるような環境の中で、必要な習慣に関心をもち、自らできることの喜びを感じられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康・安全に過ごせるような生活習慣や態度を認め、自信をもって自ら進んで行動できるようにする。</li> </ul>	自立心	
養護の 内容	<p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○色んな食べ物に興味をもち、スプーンを使って自分で食べようとする。</li> <li>○走る、跳ぶ、登る、押す、引っ張るなど全身を使う遊びを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一人一人の子どもを気持ちを受容し、応答的な触れ合いや言葉掛けを行い、安心して生活できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一人一人の子どもを気持ちを受容することにより、自分の気持ちを安心して表すことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一人一人を受容し認める中で子どもが意欲的に活動できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自らしたい思いが育つように見通しがもてる環境を整え、主体的に活動できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○成長の過程を温かく見守り、適切に働きかけることで、自信をもって行動できるようにする。</li> </ul>	協同性	<p>道徳性・規範意識の芽生え</p> <p>「思考力・判断力・表現力等の基礎」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・試行錯誤、工夫</li> <li>・予想、予測、比較、分類、確認</li> <li>・他の幼児の考えなどに触れ、新しい考えを生み出す喜びや楽しさ</li> <li>・言葉による表現、伝え合い</li> <li>・振り返り、次への見直し</li> <li>・自分なりの表現</li> <li>・表現する喜び等</li> </ul>
	<p>人間関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○保育者の愛情豊かな受容の下で生理的、心理的欲求が満たされ、心地よく生活をする。</li> <li>○一人一人の発育に応じて、はう、立つ、歩くなど十分に体を動かす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保育者との関わりの中で、自分の思いを動作や言葉で表そうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保育者や友達と一緒にいろいろな遊びをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保育者や友達とのかかわりながら、好きな遊びを十分に楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○友達と生活したり、遊んだりする中で、きまりの大切さに気付き、守ろうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○みんなで協力したり役割を分担したりしながら、共通の目的に向かって遊びを進めていく。</li> <li>○よいことや悪いことがあることに気付き、考えながら行動する。</li> </ul>	社会生活との関わり	
教育の 内容	<p>身近な人と気持ちが通じ合う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○保育者との応答的な触れ合いや言葉掛けによって欲求が満たされ、安定感をもって過ごす。</li> </ul>	<p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○保育者に見守られ、好きな玩具、自然物に自分から関わり、戸外遊び、一人遊びを十分に楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○玩具、絵本、遊具などに興味をもち、それらを使った遊びを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身近な動植物や自然事象に興味をもち、見たり触れたりして遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○数や量などに関心をもち、簡単な数を数えたり比べたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自然事象や社会事象に興味や関心をもち、関わる。</li> <li>○飼育や栽培活動を通して自然の不思議さや命の大切さに気付く。</li> </ul>	自然との関わり・ 生命尊重	<p>数量や図形、標識や文字などへの関心・ 感覚</p> <p>「学びに向かう力・ 人間性等」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思いやり</li> <li>・安定した情緒</li> <li>・自信</li> <li>・相手の気持ちの受容</li> <li>・好奇心、探究心</li> <li>・葛藤、自分への向き合い、折り合い</li> <li>・話し合い、目的の共有、協力</li> <li>・色、形、音等の美しさや面白さに対する感覚</li> <li>・自然現象や社会現象への関心等</li> </ul>
	<p>身近なものとの関わり感性が育つ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生活や遊びの中で様々なものに触れ音、形、色、手触りなどに気付き、感覚の働きを豊かにする。</li> <li>○玩具や身の回りのものをつまむ、つかむ、たたく、引っ張るなど手や指を使って遊ぶ。</li> </ul>	<p>言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○保育者の話しかけを喜んだり、自分から片言で話すことを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○絵本や紙芝居を楽しみ、簡単な言葉を繰り返したり、模倣したりして遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保育者や友達の言葉や話に興味や関心をもって聞いたり、自分の思ったことを話そうとしたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の思ったことや感じたことを伝えたり、保育者や友達との会話を楽しんだりする。</li> <li>○友達と一緒に歌ったり、楽器を鳴らしたりして楽しむ。</li> <li>○身近な素材を使って、かいたりつくったりして伸び伸びと表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人の話を注意して聞き、相手の話を受け入れたり、自分の思いを相手に分かるように話したりする。</li> <li>○いろいろな体験を通してイメージを豊かにし、感じたこと、想像したことを言葉や体、音楽、造形などの様々な方法で表現する。</li> </ul>	豊かな感性と表現	
家庭 及び 地域 と 支 援 連 携	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもの生活の場が園、家庭、地域と連続したものであることを大切に捉え、安心して過ごせるよう連携して支援する。</li> <li>○子どもの生活状況や保護者の思いを把握し、相談に応じたり、子育てに関する情報を提供したりして、子どもの健やかな成長につなげる。</li> <li>○地域の子育て中の家庭が、園の施設の利用や行事参加をしやすい機会、体制作りをする中で、親子のふれあいの楽しさや大切さを感じられるようにし、保護者同士のつながりが深まるよう支援する。</li> <li>○地域の教育力を活用し、就学前教育への理解協力を得ながら、子ども達が幅広い経験を積めるようにする。</li> <li>○様々な世代の人とかかわる力の基礎となるように挨拶の習慣を付け、「挨拶でつながる生駒」の実現をめざす。</li> </ul>	<p>健康・ 安全・ 食育 及び 防災</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○子ども一人一人の成長発達、既往症、アレルギーなどを把握し、対応の仕方について全職員が共通理解し連携を密にする。</li> <li>○虐待などの早期発見に努め、諸機関との連携をとる。</li> <li>○特別支援の必要な子どもの様子を把握し、家庭や専門機関と連携して支援に当たる。</li> <li>○子どもの健康保持、増進ならびに安全確保のため、市の各マニュアルに基づいて対策をとる。(0157対策、感染症対策、熱中症対策、防災、安全管理・危機管理マニュアル等)</li> <li>○年齢発達に応じた食育、体力づくりの取組ができるよう、実施計画、教材研究、環境整備を行う。</li> <li>○身の回りの危険や災害について、年齢に応じて理解し、避難訓練などを通して安全に身を守る力がつくように指導する。</li> </ul>	<p>小 学 校 と の 接 続</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○保育や授業の参観、職員同士の研修の機会を設け、互いの教育内容への理解を図る。</li> <li>○「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と照らし合わせて年長児の成長の姿を小学校に伝え、子ども達が円滑に小学校生活に入っていけるようになる。</li> <li>○子ども同士の交流の機会には、活動に対する双方のねらいを明確にもち、検証しながら教育内容についての接続につなげていく。</li> <li>○幼児期の教育と小学校教育の育ちをつなぐ、保幼小接続事業を進めていく。</li> </ul>					

# 全体的な計画（保育園・こども園）

<b>基本理念</b>		「遊ぼう」「学ぼう」「生きよう」 みんなでいこまを楽しもう						
<b>保育目標</b>		生駒を愛し、21世紀を生き抜く力を身につけた、優しくたくましい子どもの育成						
<b>保育方針</b>		子育てを楽しめる地域づくり・21世紀を生き抜く優しくたくましい人づくり・すべてのライフステージで、楽しみながら学び、地域とつな がる機会づくり						
年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	幼児期の終わり までに 育てたい姿	教育・保育において 育みたい資質・能力
養護・教育に関する 内容	○保健的で安全な環境を整える中で、一人一人の子どもの生理的欲求が、十分に満たされるようにする。 ○心地よい関わりの中で、一人一人が安心して過ごせるようにする。 ○伸び伸びと体を動かし、はう、歩くなどの運動をしようとする。 ○体の動きや表情、発声等により、保育者と気持ちを通わせようとする。 ○見る、触れる、探索するなど、人や周りのものへの関心をもつ。	○保健的で安全な環境をつくり、一人一人の子どもが、健康で安全に過ごせるようにする。 ○一人一人と信頼関係を深める中で、安定して過ごせるようにする。 ○保育者との関わりの中で、自分の思いを動作や言葉で表そうとする。 ○探索活動を通して、聞く、見る、触れるなどを経験し、身近な環境に自分から関わろうとする。	○保健的で安全な環境をつくり、一人一人の子どもが、健康で安全に過ごせるようにする。 ○一人一人の子どもが、自分の気持ちを安心して表すことができるようにする。 ○保育者や友達と一緒に興味のあることや、身近に経験したことを模倣して楽しむ。 ○保育者に手助けされながら、自分の身の回りのことは自分でしようとする。 ○保育者との信頼関係の中で自分の気持ちを簡単な言葉で表現する。	○保健的で安全な環境をつくり、一人一人の子どもが、安全で快適に生活できるようにする。 ○保育者との信頼関係を基盤に、主体的に生活できるようにする。 ○保育者との信頼関係のもと、安心して過ごしながら基本的な生活習慣を身に付ける。 ○保育者や友達とのかかわりながら、好きな遊びを十分に楽しむ。 ○いろいろなことに興味をもち、自分から関わりやってみようとする。 ○自分の思いや感じたことを言葉で伝えたり、自分なりに表現したりする。	○保健的で安全な環境をつくり、快適に生活できるようにする。 ○生活の場や遊びの環境を整え、主体的に活動できるようにする。 ○いろいろな遊びに興味・関心をもち、保育者や友達とのかかわりを広げる。 ○自分の思いを様々な方法で表現したり、相手の言葉や動きを受け止めたりして遊ぶことを楽しむ。 ○身近な環境に自ら関わり、考えたり、試したりしてそれを生活や遊びに取り入れようとする。	○安心安全な環境を維持し、一人一人の健康増進が積極的に図られるようにする。 ○一人一人をかけがえのない存在として受け止め、自分を肯定する気持ちが育まれていくようにする。 ○友達と共通の目的をもち、自分たちで遊びや生活を進めていく充実感を味わう。 ○自分なりに課題をもって、いろいろな活動に取り組み、やり遂げようとする。 ○自分らしさを発揮しながら、園生活を意欲的に過ごす。	健康な心と体  自立心  協同性	「知識・技能の基礎」 ・基礎的生活習慣や生活に必要な技能の獲得 ・身体感覚の育成 ・規則性、法則性、関連性等の発見 ・様々な気付き、発見の喜び ・日常生活に必要な言葉の理解 ・多様な動きや芸術表現のための基礎的な技能の獲得 等  「思考力・判断力・表現力等の基礎」 ・試行錯誤、工夫 ・予想、予測、比較、分類、確認 ・他の幼児の考えなどに触れ、新しい考えを生み出す喜びや楽しさ ・言葉による表現、伝え合い ・振り返り、次への見直し ・自分なりの表現 ・表現する喜び 等  「学びに向かう力・人間性等」 ・思いやり ・安定した情緒 ・自信 ・相手の気持ちの受容 ・好奇心、探究心 ・葛藤、自分への向き合い、折り合い ・話し合い、目的の共有、協力 ・色、形、音等の美しさや面白さに対する感覚 ・自然現象や社会現象への関心 等
	生命の保持 情緒の安定	○子どもの24時間の生活を把握し、一人一人に応じた対応を大切にしながら、健康に過ごせるようにする。  ○応答的な触れ合いや言葉掛けを行いながら、一人一人が安心して過ごせるようにする。	○家庭と連携しながら、子どもに応じた適切な生活のリズムを大切に、健康に過ごせるようにする。  ○一人一人の子どもの気持ちを受容し、応答的な触れ合いや言葉掛けを行い、安心して生活できるようにする。	○衛生的な環境を整える中で、身の回りを清潔に保つ心地よさを感じ、その習慣が少しずつ身に付くようにする。  ○一人一人の子どもの気持ちを受容することにより、自分の気持ちを安心して表すことができるようにする。	○わかりやすく手順や方法を示すなど環境を整えることで、身の回りの清潔や安全の習慣が少しずつ身に付くようにする。  ○一人一人を受容し認める中で子どもが意欲的に活動できるようにする。	○見通しがもてるような環境の中で、必要な習慣に関心をもち、自らできることの喜びを感じられるようにする。  ○自らしたい思いが育つように見通しがもてる環境を整え、主体的に活動できるようにする。	○健康・安全に過ごせるような生活習慣や態度を認め、自信をもって自ら進んで行動できるようにする。  ○成長の過程を温かく見守り、適切に働きかけることで、自信をもって行動できるようにする。	
教育の内容	<b>健康</b> ○保育者の愛情豊かな受容の下で生理的・心理的欲求が満たされ、心地よく生活をする。 ○一人一人の発育に応じて、はう、立つ、歩くなど十分に体を動かす。	○色々な食べ物に興味をもち、スプーンを使って自分で食べようとする。 ○走る、跳ぶ、登る、押す、引っ張るなど全身を使う遊びを楽しむ。	○保育者に手伝ってもらいながら、簡単な身の回りのことを自分でしようとする。 ○全身を使う運動を取り入れた遊びや、手や指を使う遊びを、十分に楽しむ。	○固定遊具や追いかけっこなど様々な動きのある遊びを繰り返し楽しむ。	○自分で出来ることに、喜びを感じながら健康・安全など生活に必要な基本的な習慣を身に付ける。	○いろいろな運動やルールのある遊びに自分なりの目的をもって挑戦する。	思考力の芽生え	
	<b>人間関係</b> ○保育者の受容的、応答的な関わりの中で欲求が適切に満たされ、安定感をもって過ごす。	○保育者の仲立ちによって、共同の遊具などを使って遊ぶ。	○保育者や友達と一緒にいろいろな遊びをする。 ○生活や遊びの中の簡単なきまりを知る。	○友達と生活したり、遊んだりする中で、きまりの大切さに気付き、守ろうとする。	○自分と生活したり、遊んだりする中で、きまりの大切さに気付き、守ろうとする。	○友達と生活したり、遊んだりする中で、きまりの大切さに気付き、守ろうとする。	○みんなで協力したり役割を分担したりしながら、共通の目的に向かって遊びを進めていく。 ○よいことや悪いことがあることに気付き、考えながら行動する。	自然との関わり・生命尊重
	<b>環境</b> ○保育者に見守られ、好きな玩具、自然物に自分から関わり、戸外遊び、一人遊びを十分に楽しむ。	○玩具、絵本、遊具などに興味をもち、それらを使った遊びを楽しむ。	○玩具、絵本、遊具などに興味をもち、それらを使った遊びを楽しむ。	○身近な動植物や自然現象に興味をもち、見たり触れたりして遊ぶ。	○数や量などに関心をもち、簡単な数を数えたり比べたりする。	○自然現象や社会現象に興味や関心をもって関わる。 ○飼育や栽培活動を通して自然の不思議さや命の大切さに気付く。	数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	
	<b>言葉</b> ○保育者の話しかけを喜んだり、自分から片言で話すことを楽しむ。	○保育者と一緒に歌ったり簡単な手遊びをしたり、体を動かしたりして遊ぶ。	○保育者と一緒に、水、砂、土、粘土紙などの素材に触れて楽しむ。	○感じたことや思ったことなどを音や動きなどで表現したり、自由にかいたりつくったりする。	○友達と一緒に歌ったり、楽器を鳴らしたりして楽しむ。 ○身近な素材を使って、かいたりつくったりして伸び伸びと表現する。	○人の話を注意して聞き、相手の話を受け入れたり、自分の思いを相手に分かるように話したりする。	言葉による伝え合い  豊かな感性と表現	
<b>表現</b> ○保育者と一緒に歌ったり簡単な手遊びをしたり、体を動かしたりして遊ぶ。	○保育者と一緒に、水、砂、土、粘土紙などの素材に触れて楽しむ。	○感じたことや思ったことなどを音や動きなどで表現したり、自由にかいたりつくったりする。	○友達と一緒に歌ったり、楽器を鳴らしたりして楽しむ。 ○身近な素材を使って、かいたりつくったりして伸び伸びと表現する。	○友達と一緒に歌ったり、楽器を鳴らしたりして楽しむ。 ○身近な素材を使って、かいたりつくったりして伸び伸びと表現する。	○人の話を注意して聞き、相手の話を受け入れたり、自分の思いを相手に分かるように話したりする。	豊かな感性と表現		
<b>健康支援/ 状態把握・増進・疾病対応</b>	<b>食育の増進 (食育計画別紙)</b>	<b>環境及び衛生管理 並びに安全管理</b>	<b>災害への備え</b>	<b>子育て支援</b>	<b>家庭との連携</b>	<b>地域との連携</b>	<b>職員の資質向上</b>	<b>小学校との接続</b>
●健康及び発育発達状態の定期的、継続的な把握 ●年2回の嘱託医による健康診断（内科・歯科） ●登園時及び保育中の状態観察、また異常が認められたときの適切な対応 ●年間保健指導計画 ●年1回職員健康診断及び毎月の検便（全職員） ●熱中症対策（指数測定・水分補給） ●プール・水遊び実施時の衛生管理 ●食中毒予防	●5領域との相関性を構築する。 ●栄養バランスを考えた自園給食の提供 ●食育活動の実施 ●行事食の提供 ●菜園作りの実施 ●クッキングの実施（5歳児） ●除去食（アレルギー対応）	●施設内外の設備、用具等の清掃及び消毒等、安全管理及び自主点検 ●子ども及び職員の清潔保持 ●感染予防対策指針の作成と実施及び保護者との情報共有 ●インフルエンザ対応 ※年1回外部業者による点検及び園庭整備（自治体事業） ●警察署指導安全教室 ●防犯教室 ●安全計画作成 ●SIDSチェック ●年2回衛生会議（全職員対象） ●プール活動等におけるチェック体制	●避難訓練（火災、地震、不審者対応）の実施（毎月） ●消防署視察 ●消火訓練の実施 ●被災時における対応と備蓄 ※年2回外部業者による消防設備点検（自治体事業）	●教育及び児童福祉としての保育並びに子育て支援の有機的な連携が図られ、子どもの成長に気付き、子育ての喜びが感じられるよう子育て支援に努める。 ●園庭開放 ●サンデー広場	●子どもの生活の場が園、家庭、地域との連続したものである事を大切に捉え、安心して過ごせるよう連携して支援する。 ●子どもの生活状況や、保護者の思いを把握し相談に応じたり、子育てに関する情報を提供したりして子どもの健やかな成長につなげる。	●地域の子育て中の家庭が、園の施設の利用や行事参加をしやすいうち・体制作りをすることで、親子のふれあいの楽しさや大切さを感じられるようにし、保護者同士のつながりが深まるよう支援する。 ●地域の教育力を活用し、幼児教育への理解協力を得ながら、子ども達が幅広い経験を積めるようにする。 ●様々な世代の人と関わる力の基礎となる様に挨拶の習慣をつける。	●質の高い保育を展開するための、一人一人の職員についての資質向上及び職員全体の専門性の向上を図るよう努める。職員に求められる専門性を理解し、質の向上に向けた組織的な取り組みを行う。職員研修、外部研修など体系的な研修計画を作成し、結果を活用する。	●保育や授業の参観、職員同士の研修の機会を設け、互いの教育内容への理解を図る。 ●「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と照らし合わせて年長児の成長の姿を小学校に伝え、子ども達が円滑に小学校生活に入っていけるようにする。 ●子ども同士の交流の機会には、活動に対する双方のねらいを明確にもち、検証しながら教育内容についての接続につなげていく。

0歳児 年間指導計画

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健的で安全な環境の中で、一人一人の欲求を満たしながら情緒の安定を図り、保育士との信頼関係を築くようにする。</li> <li>・様々な体験をする中で、感覚の発達が豊かになり、身の回りの物事への興味、関心をもつ。</li> <li>・子どもの感情や喃語に応えたり語りかけたりすることで、発語の意欲を育む。</li> </ul>
----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

期	I (4~5月)	II (6~8月)	III (9~10月)	IV (11~12月)	V (1~3月)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の生活のリズムを大切にしながら体調に留意し、健康に過ごせるようにする。</li> <li>・特定の保育士との応答的な関わりの中で心身ともに安心して心地よく過ごせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りを清潔にして過ごす心地良さを感知しながら、健康に過ごせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人に合わせて適度な運動と休息がとれるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寒さに向かう中で、外気温や室温に考慮しながら健康に過ごせるようにする。</li> <li>・自分の思いを十分発揮し、受け入れられている安心感を感じられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬場の感染症に留意し、健康に過ごせるようにする。</li> </ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭と協力しながら、子どもの1日の生活を把握し、一人一人に応じた対応をすることで、生理的欲求を満たされるようにする。</li> <li>・ありのままの子どもの姿を受け入れ、新しい環境のなかで、安心して過ごせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気温や水温、湿度に配慮して、一人一人の体調を把握しながら、水分や休息を十分に取り、沐浴や水遊びを行い、清潔を保ちながら心地よく過ごせるようにする。</li> <li>・ありのままの子どもの姿を受け入れ一人一人に応じた対応をすることで安心して過ごせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全で安心できる環境の中で、適度な運動と十分な休息がとれるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・暖かい日には散歩に出かけたり、外気に触れたりして機嫌よく過ごせるようにする。</li> <li>・愛情豊かな受容により、受け入れられている安心感と自己肯定感が感じられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清潔な環境を整え、子どもの体調の変化を把握し、適切な対応をする。</li> </ul>

区分	4~5か月	6~8か月	9~12か月	13~17か月	18~23か月
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・泣く、笑うなどの表情の変化や体の動き、喃語等で自分の思いを表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事、睡眠等の生活リズムの感覚が芽生える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見る、触れる、探索するなど、身近な環境に自分から関わろうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園生活を楽しみ、身近な人と関わる心地よさを感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分でやりたい」という気持ちを受け止めてもらいながら、身の回りのことや色々な遊びを体験する。</li> </ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やさしく声をかけてもらいながら、ゆったりとした雰囲気の中で、ミルクを十分に飲む。</li> <li>・立位で抱かれたり、腹ばいなどに体位をかえてもらったりして、手足などを盛んに動かして遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人差に応じて授乳を行い、離乳を進めていく中で、様々な食品に少しずつ慣れ食べることを楽しむ。</li> <li>・一人一人の生活のリズムに応じて、安全な環境の下で十分に睡眠をとる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おむつ交換や衣服の着替えなどを通じて清潔になることの心地よさを感じる。</li> <li>・座位が安定し、はいはい・つかまり立ち・伝い歩きなどをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・離乳食から完了期への移行を通じて、いろいろな食品や調理方法に慣れる。</li> <li>・伝い歩きから一人歩きができるようになり、探索の範囲が広がる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排泄したことを言葉やしぐさで伝えたりおまるで排尿したりする。</li> <li>・着脱に興味をもち、一人でやってみようとする。</li> <li>・歩行が確立し、階段の上り下りをしたり両足跳びをしようとする。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な人と関わりを深め、親しみや信頼関係が芽生える。</li> <li>・温かく、受容的な関わりを通じて、自分が大切にされている安心感をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・喃語に込めた気持ちを受け止めてもらえた心地よさを感じる。</li> <li>・人見知りが始まり後追いをするなど、親しい大人に愛着を示す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発見や要求を指さしやしぐさで伝え、共感を求める。</li> <li>・友達に興味をもち、そばに行ったり触れたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「マンマ」「ワンワン」などの一語文を話したり、知っているものを見つけると指差しをしたりして、大人の同意を求め、気持ちの交流を楽しもうとする。</li> <li>・保育者と歌を歌ったり、簡単な動作を模倣し手遊びやリズム遊びをしたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達への行動に関心をもち、同じ遊びをする。</li> <li>・簡単な二語文を話すようになり、自分思いを言葉で伝えたり、簡単なやり取りをしたりする。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・声をかけると人の顔を見つめたり、動くものを追視したりする。</li> <li>・音の鳴る玩具で遊んでもらうと、音のする方を向いたり、玩具を手を持つと口に入れたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活や遊びの中で様々なものに触れ、音、形、色、手触りなどに気付く。</li> <li>・玩具を振る・持ち替える・打ち合わせるなどの動作をしながら楽しむ。</li> <li>・外気にふれ、心地よさや手足を動かす楽しさを感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物の出し入れをしたり、指先でつまんだりして遊ぶ。</li> <li>・歌やリズムに合わせて体を揺らしたり、手足を動かしたりして遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園庭や戸外で土や植物の感触を楽しみながら探索活動をする。</li> <li>・絵本を読んでもらうことを喜ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指先を使う遊び(型落とし・なぐりがきなど)に興味を示し遊ぶ。</li> <li>・保育者と一緒に簡単な見立て・つもり遊びをする。</li> </ul>
環境構成・援助	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授乳は安定した姿勢で抱き、微笑みかけながら、ゆったりとした気持ちで行う。</li> <li>・腹ばいなど、体位を変えた時には、子どもの状態をよく見て、無理のないようにする。</li> <li>・一人一人の欲求を受け止め、快適に過ごせるようにしながら、大人への信頼につながるようにする。</li> <li>・抱っこや触れ合い遊びを通して、人と関わる心地よさを感じられるようにする。</li> <li>・目を合わせてあやしたり話しかけたりして喃語や笑顔を引き出す。</li> <li>・目で追ったり手に持ったりして遊べる玩具を用意する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の咀嚼・飲み込む力を観察し、調理員と連携をとりながら、発達段階に応じた調理形態の食事を準備する。</li> <li>・室温・湿度・換気・遮光などに留意し、入眠後は室内の明るさに気を付けながらSIDSチェックを行い、安全で快適な環境で眠れるようにする。</li> <li>・甘えや欲求・不安をその都度受け止め、応答的に関わっていく。</li> <li>・喃語に込めた子どもの気持ちをくみ取り言葉にして応え、受け止めてもらえる心地よさを感じられるようにする。</li> <li>・子どもの身の回りの物の安全性に留意する。</li> <li>・持ちやすい物や音の出る玩具を用意する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気持ちよくなったことを言葉で伝えていくと共に着脱に興味をもてるような言葉をかける。</li> <li>・斜面や起伏のある場所を用意し、つかまり立ちや伝い歩きを楽しめる環境を整える。</li> <li>・指や手でさした物に共感し言語化しながら、一人一人の要求を丁寧に受け止めていく。</li> <li>・友達との関わりができるように、一緒に楽しめる玩具や歌遊びなどを取り入れ、仲立ちをしていく。</li> <li>・引っ張り出ししたり指先でつまんだりできる玩具や力を加えたと形が変わったりするものを用意し、じっくり楽しめるように見守る。</li> <li>・子どもの様子に合わせて働きかけながら、楽しい気持ちに共感する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭と連携をとりながら、離乳食を無理なく進め、様々な味や食感に慣れていけるようにする。</li> <li>・一人歩きが多くなるので、事故につながらないように安全面に配慮しながら遊べるようにする。</li> <li>・危険のないように見守りながら、満足して遊べるように時間を確保し、意欲的に探索活動ができるようにする。</li> <li>・子どもの言葉や指差しをしっかりと受け止めることで、子どもが喜びや気持ちよさを経験し、自分の気持ちを安心して表せるようにする。</li> <li>・子どもが興味をもてそうな歌や手遊びを用意し、繰り返し遊びながら、保育者の真似をして楽しめるようにする。</li> <li>・一対一で絵本を読むなどして、触れ合いの時間をもつようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの気持ちや意欲を大切にしながら、排泄の習慣をつけていく。</li> <li>・着脱は、自分でやろうとする意欲を認め、やり方を伝えたり、手を貸したりしながら、できたことの喜びを味わえるようにする。</li> <li>・友達と関わるのが楽しくなるように見守ったり仲立ちをしたりし、トラブルになった時は優しい語りかけなどによりお互いの存在に気づけるようにする。</li> <li>・一対一でゆったりと言葉のやりとりをしながら、会話の楽しさが感じられるようにする。</li> <li>・一人一人の遊びを保障し、好きな玩具・遊具や自然物に自分から関わられるようにする。</li> <li>・子どものつぶやきやしぐさなどに共感しながら表現の喜びや芽生えを育てていく。</li> </ul>

健康・安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生駒市の保育園、こども園における感染対策マニュアルを基本とし、保育室や玩具を常に清潔に保ち、調乳、オムツ交換の際にも衛生管理を徹底する。</li> <li>・一人一人の既往症や予防接種の状況を確認し、発育の状態や発達過程、平熱や体質(アレルギーなど)、家庭での過ごし方などを把握しておく。</li> <li>・睡眠中、食事中などに、重大事故が発生しやすいことを踏まえ、SIDSや誤嚥の対策を行う。</li> <li>・災害や事故の発生に備え、危険個所の点検に努め、安全対策のための共通理解をする。</li> </ul>	食育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和やかな雰囲気の中で食事が摂れるように環境を整え、食べる喜びや楽しさを味わい、進んで食べようとする気持ちが育つようにする。</li> <li>・離乳食が完了期へと徐々に移行する中で、様々な食品や調理形態に慣れるようにする。</li> <li>・献立表や食育だより等を通し、保護者に対して食事や生活のリズムを整えることの大切さを伝えていく。</li> <li>・食物アレルギーのある子どもへの対応については、保護者と連携し、嘱託医等の診断及び指示に基づき適切に対応する。</li> </ul>	子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時・生活記録簿・クラスだより・懇談会を活用し、子どもの日々の様子を伝え合う中で、共に子育てしていけるよう、保護者との相互理解を図る。</li> <li>・保育及び子育ての専門性を生かし、保護者が子どもの成長に気付き子育ての喜びを感じられるように努める。</li> <li>・保護者や子どものプライバシーを保護し、秘密の保持を徹底しながら、必要に応じて関係機関との連携及び協働を図り、保護者に対する子育て支援を行う。</li> </ul>
-------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

1 歳児 年間指導計画

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健的で安全な環境を作り、一人一人の子どもが、健康で安全に過ごせるようにする。</li> <li>・保育者との応答的な関わりの中で、信頼関係を深め、自分の気持ちや欲求を安心して表せるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・探索活動を通して十分に、聞く・見る・触れるなどの経験をし、周りの物に興味、関心をもつ。</li> </ul>
----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------

期	I (4~5月)	II (6~8月)	III (9~10月)	IV (11~12月)	V (1~3月)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健的で安全な環境を作り、快適に生活できるようにする。</li> <li>・子どものありのままの姿を受け入れ、無理なく新しい環境に親しみ、安心して過ごせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の健康状態を把握し、梅雨期・夏期の衛生面に留意しながら、健康に過ごせるようにする。</li> <li>・応答的な関わりの中で、安心して過ごせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気温差や体調に留意し、残暑の時期を健康で快適に過ごせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節の変化による気温差や衛生面に留意しながら、健康で快適に過ごせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬の保健的環境に気を配り、健康に過ごせるようにする。</li> </ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの心身の発育・発達の状態を把握し、生活や遊びの場を安全に整えることで、一人一人がゆったりと過ごせるようにする。</li> <li>・一人一人の不安や欲求を受け止めながら、自分の気持ちを安心して表すことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着替えや水分の摂取を必要に応じて行い、休息と活動のバランスに気をつけ、健康に過ごせるようにする。</li> <li>・愛情豊かな受容により、安心して自己を発揮し、伸び伸びと過ごせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気温の変化や一人一人の体調に応じて活動に留意し、室内や戸外の環境を整え、元気に過ごせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気候や体調に気を付けながら薄着で過ごし、丈夫な体づくりを心掛けて、元気に過ごせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室温や気温、湿度や換気などに気を付けながら、外気に触れて元気に過ごせるようにする。</li> </ul>

期	I (4~5月)	II (6~8月)	III (9~10月)	IV (11~12月)	V (1~3月)	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい環境や保育者に徐々に慣れ、安心して過ごす。</li> <li>・身近な場所や物に興味をもち、探索活動を楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な人に、自分から関わろうとする。</li> <li>・水・砂・土など身近な自然に触れながら、いろいろな遊びをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者に見守られながら、身のまわりのことを自分でもやってみようとする。</li> <li>・全身を使って遊ぶことを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者と一緒に、友達と遊ぶことを楽しむ。</li> <li>・秋の自然の中で、触れたり探索したりして遊ぶことを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者の助けを借りながら、清潔に保つ心地よさを感じ、その習慣が少しずつ身につく。</li> <li>・保育者などの応答的な関わりの中で、身振りや言葉で表現する楽しさを感じる。</li> </ul>	
内容	健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者の愛情豊かな受容の下で、食事、排泄、睡眠の欲求が満たされ、安心して心地よく過ごす。</li> <li>・伝い歩きや歩行を喜び、全身を使って探索活動をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな食べ物を見たり、匂いをかいだり、噛んで味わうなどの経験を通して、様々な食品や調理形態に慣れ、食事を楽しむ。</li> <li>・食事や午睡、遊びなど、園における生活のリズムが形成され、健康に過ごす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食前に手を洗おうとしたり、食後に口のまわりを拭くなど自分でしようとする。</li> <li>・音楽に親しんだり、走る、登る、跳ぶなど全身を使って遊んだりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こぼしながらも、スプーンやフォークを使って、最後まで自分で食べようとする。</li> <li>・自分から、または保育者に言葉を掛けてもらうなどして、トイレで排泄しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鼻水が出たり服が汚れると、自分で拭こうとしたり保育者に知らせたりする。</li> <li>・靴やズボンなどを履いたり脱いだりなど、自分でしようとする。</li> </ul>
	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スキンシップなどを通して、特定の保育者との愛着関係を深める。</li> <li>・保育者と一緒に、身近な物を使って遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者の応答的な関わりの中で、欲求や甘えをだして、心地よく過ごす。</li> <li>・触れ合い遊びなどを通して、人と関わる心地よさや楽しさを感じる中で、身近な人への関心が広がる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ場や遊具で遊ぶ中で、友達に関心が芽生え、名前を呼んだり真似をしたりして関わろうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者と一緒に、友達と遊びを楽しんだり思いを受け止めてもらったりしながら、友達と関わって遊ぼうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者が仲立ちとなり、友達と一緒に遊ぶ中で物や簡単な言葉のやり取りの経験をする。</li> </ul>
	環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・草花など見たり触れたりして、春の自然の中で、探索活動をする。</li> <li>・絵本や玩具に興味をもち、使って遊ぼうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りの物に興味をもち、手に取り眺めたり、打ち合わせたりして様々な関わり方をして遊ぶ。</li> <li>・水・砂・土などの様々な素材に触れ、感触を楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戸外遊びや散歩をする中で、気に入った場所や遊びを見つけ、じっくりと楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋の自然の中で、探索活動が豊かになり、落ち葉や木の実などに触れ、音や感触を楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・氷や冷えた空気などの冬の自然や、春の暖かな風・草花の芽吹きなどの自然の中で遊ぶ。</li> <li>・自分の持ち物と人の持ち物がわかり、区別できるようになる。</li> </ul>
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者の話し掛けを喜んだり、表情や指差し、身振りで伝えようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「おはよう」などの簡単な挨拶や身近な物の名前を知り、言葉を使おうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本の中の繰り返しの言葉を模倣して遊ぶ。</li> <li>・簡単な言葉と動作が結びつき、行動しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活や遊びの中で、自分の思いを仕草や簡単な言葉で伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語彙が増え、2・3語文を使って保育者や友達に話そうとする。</li> </ul>
	表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者と一緒に手遊び・歌・触れ合い遊び・わらべ歌遊びなどをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を通して保育者の動きを真似たり、体を動かしたりして楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・風の心地よさなどの季節の変化を、五感を通して体験する。</li> <li>・音楽に合わせて体を動かしたり、歌ったりして遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手や指先を使って、粘土やシール貼り、なぐりがきなどの遊びをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活や遊びの中で経験したことを模倣したり、保育者と簡単なごっこ遊びをする。</li> </ul>
環境構成・援助	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の食事・排泄・睡眠などの生活リズムを把握し、無理なく環境に慣れるよう、丁寧な関わりを心がける。</li> <li>・自由に探索活動が出来るように、室内外を安全に整えておく。</li> <li>・触れ合い遊びやわらべ歌遊びでスキンシップを取りながら心の安定を図り、信頼関係を築いていく。</li> <li>・保育者と一緒に、安心して身の周りにある物に興味を示し、「見る」「触る」「遊ぶ」などができるように誘っていく。</li> <li>・身近な自然の中で小動物や草花に触れたり見たりしながら、興味や関心がもてるようにする。</li> <li>・子どもが発したサインを見逃さず、丁寧に応えていく。</li> <li>・手遊びや歌は保育者が一緒に楽しむことで、親しみがもてるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「おいしいね」「甘いね」などと言葉をかけて、食事の時間が楽しくなるようにする。</li> <li>・生活リズムが整い一日を安定して過ごせるよう、保育者がゆったりとした気持ちで関わろうとする。</li> <li>・一人一人の思いに寄り添い、受け入れてもらえる安心感や人と関わる心地よさが感じられるようにする。</li> <li>・行動範囲が広がってくるので、体を十分に動かすことのできる遊びや環境を工夫し整えておく。</li> <li>・安心できる保育者との関係の下で、様々な遊びや活動に意欲がもてるようにする。</li> <li>・様々な素材に触れる機会をもつ中で、一人一人の遊びを保障できるように、ゆったりとしたスペースを確保する。</li> <li>・生活や遊びの中で、言葉に触れる機会を作れるよう、応答的で丁寧な関わりをしていく。</li> <li>・歌ったり踊ったりする楽しさに共感していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りのことに興味もてるように、時間や場所にゆとりをもちながら、同じ保育者が丁寧に関わろうとする。また、自分でしようとする気持ちを大切に、さり気なく援助をしていく。</li> <li>・いろいろな用具を組み合わせたり、リズムカルな曲を用意したりして、全身の動きが楽しめるようにする。</li> <li>・同じ場や玩具を共有して遊べるよう、場の広さや玩具の数にゆとりをもって整えておく。</li> <li>・事前の安全確認をし、戸外遊びや散歩が十分に楽しめるようにする。</li> <li>・保育者もゆったりとした気持ちで一緒に絵本を見ながら、楽しさが感じられるようにする。</li> <li>・生活や遊びの中で必要な言葉を、丁寧に分かりやすく伝えていく。</li> <li>・体感を通しての思いに、共感していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で食べたい思いを受けとめて見守り、必要な時は援助する。</li> <li>・一人一人の排泄のタイミングを把握しながらトイレに誘うようにし、無理なく進めていく。</li> <li>・子ども同士の関わりを見守りながら、掛ける言葉や環境を工夫していく。</li> <li>・友達とのぶつかり合いが多くなってくが、それぞれの思いを受け止めながら、関わり方を知らせていく。</li> <li>・秋の自然に触れる経験が出来るよう、自然物を遊びに取り入れていく。</li> <li>・伝えたい気持ちを受け止めて、応答的に関わっていく。</li> <li>・手や指先の発達を促す遊具の準備など、子どもが楽しめるような環境を整える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・汚れが残らないようさり気なく援助しながら、清潔にすることの心地よさが感じられるようにする。</li> <li>・自分でできたことを認め一緒に喜ぶことで、達成感や自信に繋げていく。</li> <li>・保育者と一緒に遊びながら、子ども同士の関わりを見守り、友達と遊ぶことの楽しさや面白さが味わえるようにする。</li> <li>・「かして」「ありがとう」などの言葉が出た時は十分に受け止めて、言葉でのやりとりが広がっていくようにする。</li> <li>・氷などに触れる機会を作ったり、この時期だからこそ経験できる遊びを工夫する。</li> <li>・思いを汲み取りながら子どもの言葉を受け止め、共感したことなどを言葉にして返していく。</li> <li>・子どものイメージを汲み取り、一緒に遊んだり、遊びに必要なものを用意したりする。</li> </ul>	

健康・安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生駒市の保育園、こども園における感染対策マニュアルを基本とし、保育室や玩具を常に清潔に保ち、調乳、オムツ交換等の際にも衛生管理を徹底する。</li> <li>・一人一人の既往症や予防接種の状況を確認し、発育の状態や発達過程、平熱や体質(アレルギーなど)、家庭での過ごし方などを把握しておく。</li> <li>・睡眠中、食事中などに、重大事故が発生しやすいことを踏まえ、SIDSや誤嚥の対策を行う。</li> <li>・災害や事故の発生に備え、危険個所の点検に努め、安全対策のための共通理解をする。</li> </ul>	食育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和やかな雰囲気の中で食事が摂れるように環境を整え、食べる喜びや楽しさを味わい、進んで食べようとする気持ちが育つようにする。</li> <li>・離乳食が完了期へと徐々に移行する中で、様々な食品や調理形態に慣れるようにする。</li> <li>・献立表や食育だより等を通し、保護者に対して食事や生活のリズムを整えることの大切さを伝えていく。</li> <li>・食物アレルギーのある子どもへの対応については、保護者と連携し、嘱託医等の診断及び指示に基づき適切に対応する。</li> </ul>	子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時や生活記録簿・クラスだより・懇談会を活用し、子どもの日々の様子を伝え合う中で、共に子育てしていけるよう、保護者との相互理解を図る。</li> <li>・保育及び子育ての専門性を生かし、保護者が子どもの成長に気付き子育ての喜びを感じられるように努める。</li> <li>・保護者や子どものプライバシーを保護し、秘密の保持を徹底しながら、必要に応じ関係機関との連携及び協働を図り、保護者に対する子育て支援を行う。</li> </ul>
-------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2歳児 年間指導計画

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健的で安全な環境を作り、一人一人の子どもが、健康で安全に過ごせるようにする。</li> <li>・保育者が仲立ちし、生活や遊びを通して友達と関わる楽しさが広がるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心できる保育者との関係の下で、食事、着脱、排泄などの簡単な身の回りの活動を自分でしようとする。</li> </ul>
----	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------

期	I (4~5月)	II (6~8月)	III (9~10月)	IV (11月~12月)	V (1~3月)	
養護	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健的で安全な環境を作り、快適に生活できるようにする。</li> <li>・子どもの不安な姿を受け止め、無理なく新しい環境に慣れ、安心して過ごせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏の衛生面に留意し、健康で快適に過ごせるようにする。</li> <li>・一人一人の思いを受け止め、安心して過ごせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節の変化や気温に留意し、健康で快適に過ごせるようにする。</li> <li>・子どもの主体的な活動を見守り、意欲をもって生活できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症予防のため、保健衛生に留意し、健康に過ごせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬の感染症に気を付け、健康に過ごせるようにする。</li> <li>・一人一人と丁寧に関わる中で、生活の流れが身につき、自分でできることに喜びを感じて、自信をもてるようにする。</li> </ul>
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活や遊びの場を安全に整え、一人一人の子どもの健康状態や発育・発達状態を把握し、適切な対応をしながら安全で健康に過ごせるようにする。</li> <li>・子どもの様々な気持ちに寄り添い、保育室などの新しい生活の場や生活のリズムに少しずつ慣れるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の健康状態に気を配り、水分の摂取や活動・休息のバランスが取れるようにする。</li> <li>・共感したり代弁したりしながら丁寧に応答することで、自分の思いを安心して表すことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝夕の気温差や活動に合わせて衣類の調節を行うと共に、一人一人の体調に留意し、健康に過ごせるようにする。</li> <li>・自分でしようとする気持ちを受け止め、ゆっくりと見守ったり励ましたりしながら、意欲がもてるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・換気や正しい手洗いの習慣に留意し感染症予防に努めて、元気に過ごせるようにする。</li> <li>・一人一人の思いを大切にしながら関わり、満足感が味わえるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手洗いうがいを丁寧にできるように見守り、寒い冬を元気に過ごせるようにする。</li> <li>・自分でしようとする気持ちを十分に認めたり、甘えたい気持ちを受け止め、自信をもって行えるようにする。</li> </ul>

期	I (4~5月)	II (6~8月)	III (9~10月)	IV (11月~12月)	V (1~3月)		
教育	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい環境に慣れ、安心感をもって過ごす。</li> <li>・保育者や友達と一緒に自分の好きな遊びを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者に手伝ってもらいながら簡単な、身の回りのことをやってみようとする。</li> <li>・保育者や友達と関わりながら夏の遊びを十分に楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伸び伸びと体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。</li> <li>・友達と言葉のやりとりをしながら一緒に遊ぶ楽しさを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びや生活を通して、約束や決まりがあることを知る。</li> <li>・身近な自然に触れる中で、友達と関わりながら色々な遊びを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者や友達と言葉のやり取りをしながら、一緒に遊ぶ楽しさを味わう。</li> <li>・保育者や友達と一緒に生活し、進級に憧れや期待をもつ。</li> </ul>	
	内容	健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落ち着いた雰囲気の中で、こぼしながらもスプーンやフォークを使って意欲的に食べようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体の汚れや衣服の汚れに気づき、手洗いや着替えなど、自分できれいにしようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安定した生活の中で、自分でしたい思いを高めながら、身の回りのことをしようとする。</li> <li>・走る、跳ぶ、登る、またぐなどの全身を使った遊びをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・尿意や便意を知らせ、トイレに行き排泄する。</li> <li>・出来ないところは手伝ってもらいながら、鼻水を拭くなど清潔にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事や排泄、着脱などの身の回りのことを自分で言い、出来たことへの満足感を味わう。</li> <li>・外気に触れながら、全身を使って遊ぶことを楽しむ。</li> </ul>
		人間関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者や友達との、安定した関わりの中で好きな遊びをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者に気持ちを受け止めてもらいながら、友達と関わって遊ぶ。</li> <li>・異年齢の友達と関わり、簡単な触れ合い遊びをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者と一緒に簡単な手伝いや片付けを喜んでする。</li> <li>・保育者の仲立ちにより、自分なりに思いを伝えながら友達と遊ぶことを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びの中で、保育者に促されて順番を待ったり、譲ったりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気の合う友達と一緒に、生活や遊びの中で経験したことをごっこ遊びなどで再現して遊ぶ。</li> </ul>
		環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園庭の好きな場所で遊んだり、季節の草花や小動物を見つけたりする。</li> <li>・自分のロッカーなど、持ち物の置き場所を知り、持ち物の始末をやってみようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な生き物に興味をもち、親しむ。</li> <li>・保育者や友達と一緒に、水・砂・泥などに触れながら夏の遊びをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りの自然に触れたり、自然物を遊びに取り入れてたりして遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋の自然に触れ、形、色、大きさなどに興味をもつ。</li> <li>・興味をもった玩具を様々な物に見立てて遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進級するクラスの保育室で遊んだり、3歳児の子どもと一緒に過ごしたりすることを楽しむ。</li> <li>・霜柱・雪・氷などの冬の自然を、見たり触れたりする。</li> </ul>
		言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本を楽しんで見たり聞いたりする中で、簡単な言葉のやり取りをする。</li> <li>・言葉や仕草で、自分の思いを伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶など生活に必要な簡単な言葉が分かり、使おうとする。</li> <li>・自分の思いや、してほしいことを言葉で伝えようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者や友達とごっこ遊びをする中で、言葉のやりとりをする。</li> <li>・見たこと聞いたこと思ったことを自分なりの言葉で伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な言葉や表現を知り、生活や遊びの中で使おうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分がしたいことや経験した出来事を保育者や友達に話したり聞いたりして、簡単な会話をする。</li> </ul>
		表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者と一緒に歌ったり、簡単な手遊びをしたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵の具・粘土・泡など様々な素材の感触を楽しみながら、伸び伸びと遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と一緒に簡単なリズムに合わせて体を動かして遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な素材や用具に親しみ、自由にかいたりつくったりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・好きな歌やお話などのごっこ遊びを通して、体や言葉、楽器を使って、表現して遊ぶ。</li> </ul>
	環境構成・援助	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で食べようとする姿を側で見守り、必要に応じて援助する。</li> <li>・コーナーをつくり、子どもが好きな遊びを楽しめるようにしておく。</li> <li>・自分の持ち物や場所がわかるように、一人一人のマークを靴箱やロッカーなどに貼っておく。</li> <li>・春の自然に親しみがもてるような機会を多くもつ。</li> <li>・子どもの興味・関心を捉えた内容の絵本を用意し、自分で選び取って見ることができるよう置いておく。</li> <li>・ゆったりとした雰囲気の中で、話したくなるような気持ちが育つようにする。</li> <li>・子どもの興味を把握し、玩具を整えたり簡単な手遊びや歌を取り入れたりしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手洗いの習慣が身につくように、保育者も一緒に丁寧に言う。</li> <li>・「自分で」という時には見守り、手助けが必要な時にはさりげなく援助するなど、自分でしようとする気持ちを大切に促す。</li> <li>・子ども同士の関わりの中で起こるトラブルにおいては、互いの気持ちを受容・仲立ちをして、友達との関わり方を知らせていく。</li> <li>・水・砂などで遊ぶ時には、苦手な子どもも安心して遊べる環境を整える。</li> <li>・異年齢での交流の機会をもち、無理なく一緒に触れ合って遊ぶことを楽しめるようにする。</li> <li>・子どもの発見や驚きに共感し、言葉にして受け止める。</li> <li>・保育者も一緒に遊びながら、友達との関わり方や言葉の使い方を知らせていく。</li> <li>・保育者が一緒に遊びながら、興味もてるように環境を整える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活発に体を動かす機会を多くもち、伸び伸びと遊べるように発達に応じた運動遊具の使い方や組み合わせを工夫する。</li> <li>・子どもが自分でやってみようとする思いを受け止めて、側で見守り、さりげなく手助けしたり、やり方を知らせたりする。</li> <li>・保育者も一緒に遊ぶ中で、子どもの言いたいことを言葉で仲介したり、補ったりする。</li> <li>・子どもが自分で選びとれるように、配置を工夫して木の実や小枝などを準備しておく。</li> <li>・子どものイメージを大切にしながら、側で見守ったり、保育者も一緒にごっこ遊びや言葉のやり取りをしながら遊べるようにする。</li> <li>・リズムに合わせて体を動かして遊べるような曲や歌を用意しておく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレの後始末の方法や鼻水の拭き方などを知らせて、さりげなく手助けするようにする。</li> <li>・自分でやりたいという気持ちを受け止めながらさりげなく援助し、できた喜びを味わえるようにする。</li> <li>・子どもの気持ちを受け止めながら、遊びのルールやきまりに気付くように促す。</li> <li>・戸外に出掛け、自然に触れる機会を多くもつ。</li> <li>・秋の自然物や、様々な素材や玩具に触れて遊べるように、環境を整えておく。</li> <li>・子どもの話したいことや、やりたいことの意欲を汲み取り、表現しようとする気持ちを満たすように促す。</li> <li>・つくったりかいたりしやすいように、色々な素材を種類別にかごや箱などに入れて、取りやすい場所に置いておく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りのことを自分でしてみようとする姿を誉め、必要に応じてやり方を知らせたり、さりげなく手伝うようにする。</li> <li>・体を動かして遊べるように、ボールやフープ、巧技台など自分で選んで遊べるように場を整えておく。</li> <li>・子どもの気づきや感じたことを受け止めながら、保育者や友達とそのことを共感できるようにする。</li> <li>・冬の自然現象に対して興味・関心がもてるように、保育者が機会を逃さず、子どもに伝える。</li> <li>・進級への期待がもてるように、3歳児の保育室に行って遊ぶ機会を作る。</li> <li>・リズムカルな曲を用意し、保育者と一緒に歌ったり踊ったり、簡単なリズム楽器を使ったりする楽しさが味わえるようにする。</li> </ul>	

健康・安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生駒市の保育園・こども園における感染症対策マニュアルを基本とし、保育室や玩具を常に清潔に保ち、衛生管理を徹底する。</li> <li>・一人一人の既往症や予防接種の状況を確認し、発育の状態や発達過程・平熱や体質（アレルギーなど）・家庭での過ごし方などを把握しておく。</li> <li>・睡眠中・食事中などに、重大事故が発生しやすいことを踏まえ、SIDSや誤嚥の対策を行う。</li> <li>・災害や事故の発生に備え、危険箇所の点検に努め、安全対策のための共通理解をする。</li> </ul>	食育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和やかな雰囲気の中で食事が摂れるように環境を整え、食べる喜びや楽しさを味わい、進んで食べようとする気持ちが育つようにする。</li> <li>・いろいろな種類の食べ物や料理を見る・触れる・噛んで味わう経験を通して、自分で進んで食べられるようにする。</li> <li>・献立表や食育だより等を通し、保護者に対して食事や生活のリズムを整えることの大切さを伝えていく。</li> <li>・食物アレルギーのある子どもへの対応については、保護者と連携し、嘱託医等の診断及び指示に基づき適切に対応する。</li> </ul>	子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時、生活記録簿・クラスだより・懇談会を活用し、子どもの日々の様子を伝え合う中で、共に子育てしていけるよう、保護者との相互理解を図る。</li> <li>・保育及び子育ての専門性を生かし、保護者が子どもの成長に気付き子育ての喜びを感じられるように努める。</li> <li>・保護者や子どものプライバシーを保護し、秘密の保持を徹底しながら、必要に応じて関係機関との連携及び協働を図り、保護者に対する子育て支援を行う。</li> </ul>
-------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3歳児 年間指導計画

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>園生活の仕方が分かり安心して過ごしながら、基本的な生活習慣を身に付ける。</li> <li>保育者や友達と関わりながら、好きな遊びを十分に楽しむ。</li> <li>自分の思いや感じたことを自分なりに表現する。</li> </ul>
----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

期	I (4~5月)	II (6~8月)	III (9~10月)	IV (11月~12月)	V (1~3月)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健的で安全な環境をつくり、快適に過ごせるようにする。</li> <li>一人一人を温かく受け入れ、安心して過ごせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>梅雨期や暑い環境に気を配り、快適に過ごせるようにする。</li> <li>生活の中でゆったりと過ごせる雰囲気をつくり、自分の気持ちを安心して出せるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>残暑に配慮し、子どもの体調に留意しながら、健康に生活できるようにする。</li> <li>一つ一つの成長を具体的に認め、意欲的に生活できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>季節の変化に留意し、健康に過ごせるようにする。</li> <li>子ども一人一人の気持ちを受け止め、自分を肯定していく気持ちが育まれるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>冬の保健衛生に留意し、健康で快適に過ごせるようにする。</li> <li>一人一人の成長を認めることで、意欲的に生活できるようにする。</li> </ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>室内、トイレなど生活する環境を清潔に保ち、快適に過ごせるようにする。</li> <li>一人一人の気持ちや要求を受け止め、安心して過ごせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>室温や湿度に留意し、活動内容を工夫しながら快適に生活や活動ができるようにする。</li> <li>一人一人の気持ちや考えを受容し、安心して過ごせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>十分な休息と水分補給に留意し、健康に過ごせるようにする。</li> <li>新しい事にも挑戦する姿を認め、満足感が得られるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気候の変化に応じて、衣服の調節や温度・換気などに留意して、健康に過ごせるようにする。</li> <li>一人一人の姿を認め、満足感や達成感が味わえるよう配慮し、安心と自信をもって活動できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手洗い・うがいなど感染症予防について留意しながら、健康に過ごせるようにする。</li> <li>気持ちに寄り添い丁寧に関わりながら、自信をもって生活できるようにする。</li> </ul>

期	I (4~5月)	II (6~8月)	III (9~10月)	IV (11月~12月)	V (1~3月)	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者に親しみをもち、喜んで登園する。</li> <li>園生活の流れを知り、生活リズムに慣れる。</li> <li>自分の好きなものや遊びを見つけて楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りの簡単なことは自分でしようとする。</li> <li>好きな遊びを保育者や友達と一緒に楽しむ。</li> <li>砂や水などの感触を味わう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りのことを自分から取り組もうとし、自分でできた喜びを味わう。</li> <li>友達と一緒に同じ遊びをする楽しさを味わう。</li> <li>戸外で体を動かして遊ぶことを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な自然に触れ、友達と関わりながらさまざまな遊びを楽しむ。</li> <li>経験したこと、感じたこと、想像したことなどをいろいろな方法で自分なりに表現しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達や保育者と一緒に、体を動かして遊ぶことを楽しむ。</li> <li>友達との関わりの中で、自分の思いを十分に出しながら遊びを楽しむ。</li> <li>大きくなる喜びや進級に対する期待をもって生活をする。</li> </ul>	
教育内容	健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>園での生活の流れや、簡単なきまりを知る。</li> <li>手洗い、排泄、衣服の着脱などの基本的な生活の仕方を知り、保育者に手伝ってもらいながら自分でしようとする。</li> <li>自分の好きな遊具や場所を見つけ、安心して過ごす。</li> <li>戸外で遊ぶことを喜び、遊具の使い方をを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>着替えや後始末の仕方を知り、保育者と一緒に行いながら自分でできることは自分でしようとする。</li> <li>自分の好きな遊びを見つけて遊ぶ。</li> <li>戸外で体を動かして、伸び伸びと遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りのことを、進んで自分でしようとする。</li> <li>戸外で体を動かして遊ぶ。</li> <li>運動遊びに興味をもち、やってみようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>季節の移り変わりに伴う衣服の調節など、身の回りのことを自分でしようとする。</li> <li>保育者や友達と思いきり体を動かして遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鬼ごっこやボール遊びなど寒さに負けず、全身を使った遊びをする。</li> <li>物や場所の安全な使い方がわかり、自分から気を付けて遊ぼうとする。</li> </ul>
	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者や友達と挨拶を交わしたり、名前を呼ばれたら返事をしたりする。</li> <li>自分のクラスがわかり、保育者や友達に親しみの気持ちをもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者や友達のすることを見たり、まねたりしながら一緒に遊ぶ。</li> <li>遊びや生活の中のきまりを守ろうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊具や用具の順番を守る大切さを知り、友達と一緒に使ったり遊んだりする。</li> <li>遊びの中で、遊具の安全な使い方を知り、友達と一緒に遊具の片付けをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊びの場を友達や保育者と一緒に準備する。</li> <li>保育者や友達と一緒に関わりながら、簡単なルールのある遊びをする。</li> <li>異年齢の友達といろいろな遊びをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達にも嬉しい気持ちや嫌な気持ちがあることに気付く。</li> <li>友達と一緒に過ごしたり、遊んだりする中で、友達とのつながりを深めていく。</li> <li>異年齢児との関わりを通して進級への期待を高めたり、親しみや憧れの気持ちをもてるようにしたりする。</li> </ul>
	環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な草花や生き物を見たり触れたりして親しみをもつ。</li> <li>園生活で使う道具の名称や使い方を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>砂や水などに触れて感触を楽しんだり開放感を味わったりする。</li> <li>身近な草花や生き物との触れ合いを通して、親しみの気持ちをもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然物を集めたり、遊びに使ったりする。</li> <li>園庭や地域の草花や木々などの変化に気付き、興味をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な自然に親しみ、変化に気付いたり、自然物を遊びに取り入れたりする。</li> <li>栽培物を収穫する。</li> <li>いろいろな行事に喜んで参加する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>季節の移り変わりや自然現象に興味をもつ。</li> <li>遊んだ後、片付けをすると気持ちがよくなることを知り、進んで片付けをする。</li> </ul>
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>したいこと、してほしいことを態度や言葉で保育者に伝えようとする。</li> <li>絵本や紙芝居を見たり聞いたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達と関わる中で、自分の思いを自分なりに言葉で表現しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊びの中でやりとりを楽しみながら、生活に必要な言葉を知る。</li> <li>自分の気持ちや困っていること、してほしいことなどを、保育者に自分なりの言葉で伝えようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉のやりとりを楽しみながら、保育者や友達とごっこ遊びをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>嬉しいこと、考えたことなど自分の思いを言葉に出して表現する。</li> </ul>
	表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌をうたったり、手遊びをしたりする。</li> <li>土や砂、粘土などの感触を楽しみながら遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌をうたったり、曲に合わせて体を動かしたりする。</li> <li>のり、パス、はさみなどの道具を使ってかいたりつくったりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵本や紙芝居のストーリーを楽しみながら見る。</li> <li>リズムに合わせて歌ったり体を動かしたりする。</li> <li>身近な素材や用具でかいたり、つくったりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>はさみなどを使い、イメージするものを制作する。</li> <li>かいたものやつくったものを保育者と一緒に飾ったり、使って遊んだりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達と一緒に歌ったり、楽器を鳴らしたり、体を動かしたりして遊ぶ。</li> <li>材料や用具を使って、喜んでかいたりつくったりする。</li> </ul>
環境構成・援助	<ul style="list-style-type: none"> <li>手洗い、排泄、持ち物の整理など、繰り返し知らせ、安心して覚えられるようにする。</li> <li>片付けは保育者が中心になってしながら、やってみようという気持ちが少しずつもてるようにしていく。</li> <li>初めて集団生活に入る子ども達が、園に親しみをもてるように、温かく楽しい雰囲気が感じられるような環境づくりをする。</li> <li>一人一人の子どもを温かく受け入れ、安心感をもって過ごせるように援助する。</li> <li>靴箱、ロッカーなどにマークを付け、自分の場所が分かりやすいように表示する。</li> <li>遊具は子どもが遊びやすいように表示をし、安全面に配慮する。</li> <li>好きな遊びを見つけれられるような、保育者と一緒に遊び、興味もてるような言葉をかける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>着替えや身の回りのことをするときには一人一人の気持ちやできたことを認め、自信や意欲につなげる。</li> <li>様々な遊びを保育者も一緒にしながら、その遊びの楽しさを知らせる。</li> <li>片付けがスムーズにでき、分類や整理がしやすいように表示をする。</li> <li>水遊びやプール、泥遊びなど夏の遊びを思い切り楽しめるような環境をつくる。</li> <li>プール遊びでは、一人一人の興味や段階に応じて無理のないように遊びを進める。</li> <li>生き物との触れ合いでは、機会を捉えて大切に扱うことを知らせる。</li> <li>自分の思いを伝えにくい子どもにはじっくりと関わり、少しずつ言葉で伝える楽しさを知らせる。</li> <li>いろいろな道具や用具の使い方を具体的に知らせ、伸び伸びとかいたり、つくったりする楽しさが味わえるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>戸外に出て、体を動かして遊ぶ楽しさを知らせる。</li> <li>全身を使った遊びが繰り返し楽しめるような環境の工夫をする。</li> <li>汗の始末や、水分補給、日除けの設置など、暑さに対する体調管理に十分気を付ける。</li> <li>かけっこやリズム、体操など興味をもって楽しめるような場を構成をする。</li> <li>友達との遊具の取り合いなどでは、保育者が仲立ちとなり、互いに気持ちに気付けるように援助する。</li> <li>自然物(木の実・木の葉など)や虫などに触れられるような環境づくりをする。</li> <li>秋を感じられるように、地域へ散歩に行ったり、遠足に出掛けたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りのことや片付けなど、自分達でできるように、置き場所や手順などに配慮する。</li> <li>手洗い、うがいの大切さを知らせ、自分しようとする意欲が湧くように、一人一人や場に応じた援助をする。</li> <li>簡単な鬼ごっこやボールを使った遊びなど、全身を使った戸外遊びを取り入れ、遊びに誘いかけたり保育者が一緒に遊びに参加したりする。</li> <li>好きな遊びをする中で、異年齢の友達と自然な関わりがもてるように仲立ちをする。</li> <li>ルールを守る大切さを伝え、繰り返しすることで、友達と一緒に遊ぶ楽しさを知らせる。</li> <li>自然物(木の実、木の葉)に十分触れられるような環境づくりをする。</li> <li>気付いたこと、思ったことを伝える喜びが味わえるように、温かく受け止め、共感する。</li> <li>子どもの要求に応じていろいろな素材を用意し、つくりたい気持ちを大切に作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>戸外で遊ぶことを誘いかけ、鬼ごっこやボール遊びなど友達と思い切り体を動かして遊べるようにする。</li> <li>遊びや生活の中で、多くのことが自分でできるようになったことを認めたり、喜びに共感したりして、自信をもって生活できるようにする。</li> <li>4歳児と一緒に遊ぶ機会をもったり、4歳児の保育室で遊んだりして、進級への期待が高まるようにする。</li> <li>雪や氷などの冬の自然現象に触れ、子どもの発見や驚きに共感する。</li> <li>友達と一緒に歌ったり、楽器を鳴らして遊んだりできる機会や場をつくり、喜びや達成感を味わえるようにする。</li> </ul>	

その他の配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間を通して保育内容を写真や学年だよりで知らせるようにする。また、ホームページやSNSで必要な情報を発信する。</li> <li>子育てに関する情報を随時発信する。毎月発行される県教委の「家庭教育の目標」や市幼保こども園課の「ばくばくだより・けんこうだより」等も活用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭での様子を聞いたり園での様子を伝えたりして保護者との信頼関係を築いていく。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども一人一人の家庭背景や生活経験を把握し、それぞれが無理なく園生活になじめるような環境構成や関わり方の工夫をする。</li> <li>学級経営やクラスづくりの目標を伝え、懇談会では、保護者同士の親睦を図る。(幼)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>懇談会などで子どもの様子や成長を知らせ、保護者と連携して子育てをしていけるようにする。</li> <li>冬(休み)の過ごし方について、学年だよりなどで知らせる。</li> <li>9月当初は、子どもの園での様子や家庭での様子を密に情報交換し、子どもが安定した気持ちで過ごせるよう配慮する。</li> </ul>

4歳児 年間指導計画

目標	・自分のしたい遊びを見つけ、保育者や友達と一緒に遊び、関わりを広げる。	・身近な自然に興味をもち遊びに取り入れ、親しみをもつ。	・いろいろなことに興味・関心をもち、感じたこと思ったことを様々な方法で表現しようとする。
----	-------------------------------------	-----------------------------	----------------------------------------------

期	I (4~5月)	II (6~8月)	III (9~10月)	IV (11月~12月)	V (1~3月)
ねらい	・保健的で安全な環境をつくり、快適に生活できるようにする。 ・一人一人の要求を満たし、安心して過ごせるようにする。	・梅雨時期や夏季の健康・安全に留意し、一人一人の思いに寄り添い、安心して過ごせるようにする。	・気温の変化や体調に応じた環境を整え、健康に過ごせるようにする。 ・気持ちを温かく受け止めてもらい、一人一人が安心して過ごせるようにする。	・季節の変化に応じた環境に留意し、一人一人が健康に過ごせるようにする。 ・安心して自分の思いが表現できる環境を整え、自信をもって生活できるようにする。	・冬の保健衛生に留意した環境の中で、健康に過ごせるようにする。 ・進級に向けての様々な気持ちを受け止めながら、安心して過ごせるようにする。
内容	・新しい環境を整備し、安全に生活できるようにする。 ・一人一人に寄り添いながら、自分の思いや考えを安心して表現できるようにする。	・体調の変化に留意し、活動の調整や休息、水分補給を取り入れ、健康に過ごせるようにする。	・室温や衣服の調節に留意し、健康に過ごせるようにする。 ・園生活や行事の中で、一人一人の姿を認め、安心や自信をもって行動できるようにする。	・気温の変化に応じて室温換気に留意し、健康で快適に過ごせるようにする。 ・一人一人の表現や姿を受け止め、自信をもって行動出来るようにする。	・手洗いなどの感染症予防について留意しながら、健康に過ごせるようにする。 ・進級に向けての不安や喜びの気持ちを受け止めながら安心して過ごせるようにする。

期	I (4~5月)	II (6~8月)	III (9~10月)	IV (11月~12月)	V (1~3月)	
教 育	ねらい	・自分のしたい遊びを見つけ、保育者や友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。 ・身近な素材を使って、かいたりつくったりすることを楽しむ。 ・いろいろな夏の遊びに喜んで参加し、水に親しんだり開放感を味わったりする。 ・身近な生き物に触れたり世話をしたりして、興味をもつ。 ・栽培物の世話をし、生長を喜ぶ。	・戸外で保育者や友達と思い切り体を動かして遊ぶことを楽しむ。 ・クラスの友達と一緒に、みんなで活動に取り組む楽しさを味わう。 ・身近な自然に親しみをもち、見たり触ったりして楽しむ。	・遊びや生活の中で友達と関わり、思いを出し合いながら遊ぶ楽しさを味わう。 ・感じたことやイメージしたことを、かいたりつくったりして表現することを楽しむ。 ・身近な自然に触れ、興味をもったり遊びに取り入れたりして楽しむ。 ・年末の行事に興味や関心をもつ	・いろいろな遊びに興味をもち、自分なりの力を発揮して活動に取り組む。 ・友達と思いを出し合って、一緒に試したり工夫したりして、遊びを進めようとする。 ・友達と一緒に歌をうたったり、楽器で遊んだりすることを楽しむ。 ・大きくなることや進級することに、期待をもつ。	
	健康	・基本的な生活の仕方を知り、自分なりにしようとする。 ・好きな遊びを見つけ、戸外で体を動かして遊ぶ。	・水遊びの準備や後始末など、自分でできることはしようとする。 ・梅雨期や夏の生活の仕方を知り、必要に応じて衣服の調節をしたり、水分補給をしたりする。	・戸外でいろいろな運動遊びを友達と一緒にする。 ・自分の健康に関心をもち、進んで守ろうとする。	・いろいろな運動遊びや、簡単なルールのある遊びに興味をもって取り組む。 ・健康な生活に必要な習慣を身に付ける。	・冬の健康な生活に関心をもち、うがいや手洗いや必要の習慣を身に付ける。 ・寒さに負けず進んで戸外で体を動かして遊ぶ。
	人間関係	・挨拶や返事を進んでしようとする。 ・自分の好きな遊びを見つけたり、友達と触れ合ったりして遊ぶ。	・保育者や友達とイメージを合わせ、関わって遊ぶ。 ・水遊びやプール遊びの決まりを守って遊ぶ。 ・異年齢児と触れ合い、親しみの気持ちをもつ。	・簡単なルールや順番を守って友達と遊ぶ。 ・異年齢の友達の遊びに興味をもち、一緒に遊ぶ。 ・祖父母や地域のお年寄りなど、身近な人に親しみの気持ちをもつ。	・友達との関わりの中で意見を出し合ったり、一緒に考えたりすることで、様々な考え方があることを知ったり、友達の良いところに気づいたりする。 ・当番活動の仕方がわかり、進んで行おうとする。	・自分なりのめあてをもって積極的に遊ぶ。 ・年長児の真似をしたり、一緒に遊んだりして憧れの気持ちを深める。 ・友達とルールを守りながら遊ぶ。
	環境	・園の遊具や用具の安全な遊び方や扱い方を知る。 ・戸外で身近な自然に触れて遊ぶ。	・水、砂、泥の感触を味わいながら遊ぶ ・身近な生き物に親しみをもち、見たり触ったりして保育者と一緒に世話をする。 ・栽培物の生長に興味や関心をもち、世話をしたり収穫したりする。	・草花や虫などの世話をしたり、優しく扱ったりする。 ・栽培物を収穫したり味わったりする。 ・秋の自然物に興味をもち、取り入れて遊ぶ。	・木々が色づく様子や風の冷たさなどの身近な事象に関心をもち、そのおもしろさや不思議さに気づく。 ・年末の行事に参加する。	・草花や風の様子の変化に気付き、冬から春にかけての自然事象に興味をもって、遊びや生活に取り入れる。 ・いろいろな遊びの中で、簡単な数や形、文字に関心をもつ。
	言葉	・保育者に親しみをもち、してほしいことを表情や態度・言葉で伝えようとする。	・自分の思ったこと、考えたことなどを保育者や友達に言葉で伝える。	・自分のしたこと、見たこと、感じたことを保育者や友達に話す。	・自分の思いを言葉で伝えたり、相手の話を聞いたりをしながら遊ぶ。	・自分の思ったことや考えたことを、言葉で伝えたり、相手の話を聞いたりをしながら、友達と遊びを進めていく。
	表現	・みんなで一緒に歌ったり、手遊びをしたり絵本や紙芝居を見たりする。	・いろいろな素材や用具に親しみ、かいたりつくったりする。 ・自分のなりたいものになりきって、表現して遊ぶ。	・友達と一緒に曲に合わせて踊ったり、リズムカルに表現したりする。 ・身近な素材や用具に触れ、自分なりに伸び伸びと表現する。	・互いのイメージを出し合い、友達と一緒に遊ぶ。 ・遊びに必要な物をつくったり、つくった物を使って遊んだりする。 ・様々な素材や身近な自然物を使い、つくって遊ぶ。	・いろいろな歌をみんなで一緒に歌ったり、リズムに合わせて楽器を鳴らしたりする。 ・イメージを膨らませながら、友達と一緒に遊ぶ。 ・遊びに必要なものを工夫してかいたりつくったりして、それらを使って遊ぶ。
	環境構成・援助	・一人一人が安心して遊べるような場や時間を確保し、環境を整える。 ・身の回りのことを自分でしようとする姿を十分に認めながら、必要に応じて援助する。 ・遊具の安全な使い方や集団生活での約束などを繰り返し分かりやすく知らせる。 ・保育者も一緒に遊ぶ中で、戸外で体を動かす心地よさを感じられるようにする。 ・保育者や友達と笑顔で挨拶が交わされるような雰囲気づくりをする。 ・一人一人の子どもの触れ合いを大切に、安心して過ごせるようにする。 ・身近な春の自然に触れ、草花や生き物に興味をもてるようにする。 ・幼児一人一人の思いに寄り添いながら、自分の思いを相手に言葉で伝えようとする気持ちを引き出せるようにする。 ・保育者や友達と一緒に歌を歌ったり、絵本を見たりして同じイメージをもって楽しめるような雰囲気づくりをする。	・汗をかきやすいので水分の補給、着替えなど自分でしようとする姿を認める。 ・一人一人の遊びや気持ちの変化を把握し、子どもが興味をもてるように環境を構成する。 ・一人一人が好きな遊びを楽しみながら、同じ場にいる友達と関われるようにする。 ・水や泥の感触を十分に味わうことができるよう、いろいろな用具や遊具をそろえておく。 ・水遊びやプール遊びの楽しさや心地よさが感じられるように工夫し、水に抵抗のある子どもの気持ちに寄り添いながら楽しむようにする。 ・身近な生き物や栽培物の世を通して、子どもの発見や気づきに共感し、興味や関心を高める。 ・自分の思いを自分なりに表現している様子を認めながら、必要に応じて具体的な言葉を知らせていく。 ・遊びのイメージが広がるような材料を用意し、自分なりに試したり工夫したりする姿を認める。	・一人一人が楽しく参加できるような場の設定を工夫する。 ・戸外遊びを保育者や友達と十分に楽しめるように遊具や用具を準備する。 ・できるようになったことを十分に認め、意欲につなげていく。 ・遊びの中で一人一人の気持ちを受け止め、保育者が仲立ちとなり遊びが持続するようにする。 ・友達と遊びのイメージやルールを共有し、みんなで活動する喜びが味わえるようにする。 ・地域の人と出会えるような機会を取り入れていく。 ・秋の自然に触れることができるように、図鑑や虫かごなど必要なものを用意しておく。 ・冬や春に収穫できる栽培物を植え、水やりや収穫食べることに興味をもてるようにする。 ・トラブルが起きた時には保育者が仲立ちをし、互いの考えや気持ちが伝わるようにする。 ・曲に合わせて体を動かしたり、自由に表現したりする場を用意し、保育者も一緒に楽しむ。	・うがいや手洗いの大切さなどを伝えたり、手洗いの方法を掲示したりして、健康に過ごせるようにしていく。 ・友達と一緒にしたい遊びを楽しめるような場を設定する。 ・保育者も一緒に遊びながらルールを確認し、集団で遊ぶ楽しさが味わえるようにしていく。 ・園外保育などを通して、季節の変化など様々な発見ができるようにする。 ・思いを伝え合えるように見守ったり、言葉が足りないときは補ったりして、相手の思いに気付けるようにする。 ・行事の準備や飾り付けと一緒にしながら、楽しく参加できるようにする。 ・見つけた自然物を使っていろいろな遊びができるように必要な材料や用具を出し、子どもと一緒に考え、試したり工夫したりできるようにする。	・保育者や友達と戸外で思い切り体を動かし、いろいろな遊びに挑戦できるように誘いかける。 ・保育者も遊びに参加することで、ルールのある遊びを十分に楽しめるようにする。 ・考えを出し合いながら遊ぶ姿を見守ったり、認めたりして、自分たちで遊びを進める楽しさに気付けるようにする。 ・年長組の保育室に行ったり、関わったりして交流し、年長組になるという期待がもてるように援助する。 ・身近な自然の変化を見逃さず遊びに取り入れるようにし、遊びを通して自然の面白さや不思議さを感じられるようにする。 ・植物の生長や栽培物の収穫を通して、春の訪れを感じられるようにする。 ・友達と一緒に歌や合奏が楽しめるような雰囲気をつくる。 ・子どもの発想を生かして制作できるように、いろいろな素材や用具を準備する。

その他の配慮事項	・年間を通して保育内容を写真や学年だよりで知らせるようになる。また、ホームページやSNSで必要な情報を発信する。 ・子育てに関する情報を随時発信する。毎月発行される県教委の「家庭教育の目標」や市幼保こども園課の「ばくばくだより・けんこうだより」等も活用する。				
	・学級経営やクラスづくりの目標を伝え、懇談会では、保護者同士の親睦を図る。(幼)	・保育参観や懇談会を行い、園生活の様子を見てもらったり、伝えたりする。 ・夏(休み)の過ごし方について、学年だよりなどを通して家庭で工夫してもらえよう伝える。	・9月当初は、子どもの園での様子や家庭での様子を密に情報交換し、子どもが安定した気持ちで過ごせるよう配慮する。	・懇談会などで子どもの様子や成長を知らせ、保護者と協力して子育てをしていけるようにする。 ・冬(休み)の過ごし方について、学年だよりなどで知らせる。	・懇談会で子ども達の様子や成長を知らせたり一人一人の成長を確認し合ったりする。 ・1年を振り返り評価することで、保育内容を検討し、結果を次年度に生かせるようにする。

5 歳児 年間指導計画

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と相談し協力し合いながら、同じ目的をもって遊びや生活を進めていく楽しさを味わう。</li> <li>・身近な自然事象や社会事象に興味や関心をもち、生活に取り入れていこうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分なりの課題をもっていろいろな活動に取り組み、やり遂げようとする。</li> <li>・様々な体験を通して豊かな感性を育み、表現することの楽しさを味わう。</li> </ul>
----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

養護	期	I (4~5月)	II (6~8月)	III (9~10月)	IV (11月~12月)	V (1~3月)
ねらい	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健的で安全な環境をつくり、快適に生活できるようにする。</li> <li>・一人一人の様々な要求を満たし、安心して過ごせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・梅雨期や夏期の健康、安全に留意し快適に過ごせるようにする。</li> <li>・子ども一人一人の欲求を満たし、安心感をもって過ごせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気温の変化に応じて室温や換気に留意し、健康で安全に過ごせるようにする。</li> <li>・自分でできたという達成感を味わい、意欲的に生活できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気温の変化に合わせて環境を整え、健康に過ごせるようにする。</li> <li>・一人一人の気持ちや考えを受容し、自己発揮して活動できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な生活習慣や態度が身に付いていることを認め、自ら健康を意識して過ごせるようにする。</li> <li>・友達と共に過ごす喜びを味わいながら、遊びや生活を通して充実感を味わえるようにする。</li> </ul>
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内外の環境に留意し、安全で快適に過ごせるようにする。</li> <li>・進級した事に対しての不安や嬉しい気持ちに寄り添う言葉を掛け、安心して過ごせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水分補給に気を付けたり、活動と休息のバランスを考えたりして健康に過ごせるようにする。</li> <li>・思いを受け入れ、自分の思いを十分にだせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気温の変化に応じて衣服の調節をしたり、手洗いを丁寧に行い、健康に過ごせるようにする。</li> <li>・自分でやってみようとする姿を認め、自信をもって生活できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節の変わり目で体調を崩しやすくなるので気温の変化に合わせて環境を整え、健康に生活できるようにする。</li> <li>・保育者との信頼関係の中で、一人一人が自分の思いや考えを安心して表せるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の健康状態を把握し気温や活動内容に応じた衣服の調節や手洗いなどを行う様子を見守り健康に過ごせるようにする。</li> <li>・就学への期待や不安を受け止め、安心して自分の力を発揮して生活できるようにする。</li> </ul>

教育	期	I (4~5月)	II (6~8月)	III (9~10月)	IV (11月~12月)	V (1~3月)
	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい環境に慣れ、生活に必要なきまりを守ったり、友達と関わったりしながらいろいろな活動に見通しをもって取り組もうとする。</li> <li>・戸外で思いきり体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。</li> <li>・春の自然や身近な動植物に触れながら、興味や関心をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・互いに思いを出し合いながら、いろいろな遊びを楽しむ中で友達との関わりを広げる。</li> <li>・夏ならではの遊びに進んで取り組み、友達と一緒に試したり工夫したりして遊ぶ楽しさを味わう。</li> <li>・動植物に親しみの気持ちをもち、興味や関心をもって観察や世話をしようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と共通の目的に向かって一人一人の力を十分に発揮し、意欲的に取り組む。</li> <li>・いろいろな運動遊びに積極的に参加し、思いきり体を動かして遊ぶ楽しさや心地良さを味わう。</li> <li>・身近な自然の変化に気付き、興味や関心をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びや生活の中で、友達と共通のイメージをもち、いろいろな活動をする楽しさを味わう。</li> <li>・自分の感じたことや思ったことをいろいろな材料を使いながら、工夫して表現しようとする。</li> <li>・身近な自然や社会事象に興味や関心をもち、遊びや生活に取り入れて楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループやクラスの友達と一緒に目的や見通しをもち、自分達で遊びや生活を進めていく満足感を味わう。</li> <li>・一年生になるという自覚と喜びをもちながら、意欲的に園生活を送ろうとする。</li> </ul>
内容	健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年長組になったことを喜び、新しい生活の仕方や習慣を身に付け、きまりの大切さに気付く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の体に関心をもち、健康な生活に必要な習慣や態度を身に付ける。</li> <li>・夏の過ごし方がわかり、適切に水分や休息をとったり、衣服の調節をしたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな運動遊びに興味をもち、進んで行う。</li> <li>・自分の力を発揮しながら、全身を動かして遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と戸外で積極的に体を動かして遊ぶ。</li> <li>・病気の予防に関心をもち、健康な生活の習慣を身に付け、進んで行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寒さに負けず、十分に体を動かし、いろいろな運動遊びに取り組む。</li> </ul>
	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戸外で思う存分体を動かす遊びや、ルールのある遊びをする。</li> <li>・年下の子どもに優しくしたり、手助けをしたりしようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな活動に楽しんで取り組み、クラスの友達や異年齢など、人との関わりを深めていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールを守り、友達と力を合わせたり競い合ったりする。</li> <li>・異年齢の子どもと積極的に関わり、年長児らしさを発揮する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共通の目的に向かって、友達と考えを出し合いながら活動を進めていく。</li> <li>・地域の人々と触れ合い、親しみをもち。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達や異年齢児、身近な人々と生活を共にしてきたことを振り返り、大きくなった喜びや感謝の気持ちをもつ。</li> <li>・就学に向けて、期待をもって生活をする。</li> </ul>
	環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分達で生活や遊びの場を整えようとする。</li> <li>・安全に気を付け、遊具や用具を正しく使う。</li> <li>・戸外の自然に接し、季節の変化に興味をもつ。</li> <li>・身近な動植物に興味をもち、進んで世話をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土・砂・水・泥の感触を楽しみ、開放感を味わいながらいろいろな遊び方を試してみようとする。</li> <li>・生き物の世話を通して、命の尊さに気付き、大切にしようとする。</li> <li>・栽培物の生長に関心をもち、収穫を楽しんだり、収穫の喜びを味わったりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠足や園外保育を通して、園ではできない遊びや体験をする。</li> <li>・秋の自然に目を向け、見たりふれたり、自分たちの遊びに取り入れたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節の移り変わりに興味や関心をもちながら、身の回りの自然に触れる。</li> <li>・身近な社会の様子や、年末年始の行事などに関心をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数量や図形、標識や文字などに感心をもち、日常生活に取り入れて遊ぶ。</li> <li>・冬から春への自然の変化に関心をもち、発見したことや考えたことを友達と伝え合う。</li> </ul>
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の気持ちを相手に分かるように伝えようとしていたり、相手の話を聞いたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と遊ぶ中で自分の思いを伝えたり、相手の気持ちに気付き、受け入れようとしていたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と遊ぶ中で相手の気持ちに気付き、相談しながら遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びの中で友達と相談し合い、ルールを決めたり、役割を分担したりする。</li> <li>・互いに考えたことや感じたことを話したり聞いたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな体験を通して、経験したことや自分の思いを言葉で伝えあう。</li> </ul>
	表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分なりの目的をもち、挑戦しようとする。</li> <li>・自由にかいたり、つくったりして自分のイメージを表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな材料を使って、自分なりに工夫しながら、楽しんでかいたりつくったりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と一緒にイメージを膨らませ、協力しながら活動を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な材料や自然物を使って、遊びに必要な物を工夫してつくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな歌をうたったり楽器を使ったり、リズム遊びを楽しんだりする。</li> <li>・友達と一緒に共通の目的に向かって取り組み、自信をもって発表する。</li> </ul>
環境構成・援助	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊具の安全な組み立て方、持ち方をしているかを確認する。</li> <li>・安定した気持ちで生活ができるよう、一人一人の子どもの心の動きを受け止め、信頼関係を深めるようにする。</li> <li>・自分で取り組もうとする意欲を受け止めたり、励ましたりする。</li> <li>・一人一人の頑張っている姿や互いに教え合っている姿を具体的に認めたり、それらの姿を他の子どもに知らせ、刺激や意欲につなげたりする。</li> <li>・保育者と一緒に遊びの場を設定できるようにする。</li> <li>・自分達で動植物の世話がしやすいように用具や場の設定をする。</li> <li>・園内外の安全点検をし、健康で安全な生活ができるように環境を整える。</li> <li>・友達と互いに思いを言葉で伝え合う姿を見守り、必要に応じて保育者が仲立ちをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プール遊びの約束について十分に話し合い、安全面に気を付ける。</li> <li>・自分なりの目標をもち頑張る姿を認め、自信をもてるようにしていく。</li> <li>・友達と一緒に繰り返し試したり工夫したりしながら、自由に遊びを作り出せるような場や時間を保障する。</li> <li>・パラソル・テントなどを用いて日陰をつくったり、水分補給や休息の時間を取ったりして子どもの健康に配慮する。</li> <li>・身近な生き物と触れ合う機会を多く設け、命の大切さを感じられるようにする。</li> <li>・水やりや草取りなどがしやすい環境整備に努め、栽培物の生長や変化に気付いたり収穫への期待をもって世話ができるようにする。</li> <li>・日常生活の中で、考えたことや自分の思いを話せるような機会をもち、伝え合う楽しさが味わえるようにする。</li> <li>・一人一人が楽しく伸び伸びと表現している姿を認め、工夫しているところを認める言葉をかける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦手なことに挑戦している子どもの姿を認めたり、励ましたりしながら、できるようになった達成感や満足感を味わえるようにする。</li> <li>・友達の頑張りに気付いたり、刺激を受けたりして互いに高め合えるようにする。</li> <li>・運動遊びに挑戦したいという気持ちが高まるように、また、リズムに合わせて動きを楽しめるように、遊具や用具などを準備する。</li> <li>・異年齢児と関わる中で、年下の子どもに優しく接したり、思いやったりする姿を認めることで、年長児としての自信がもてるようにする。</li> <li>・虫を捕るだけでなく、動きや生態に興味や関心をもったり飼育方法を考えたりして接する中で、命を大切に育てる。</li> <li>・遠足や園外保育を通して広がった興味や関心を活かして遊べるようにする。</li> <li>・友達と一緒に遊びや生活に必要な物を相談し、そのイメージを実現できるような時間や場、材料を確保する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症予防・手洗い・うがいの大切さなどを伝え、健康に過ごせるようにしていく。</li> <li>・自分達で遊びに必要な場をつくり、考えたり工夫したりしながら目的が達成できるよう援助する。</li> <li>・遊びが発展していくよう、ルールや約束事を新たに考えたり、改善したりできるように見守る。</li> <li>・クラスやグループの友達と、力を合わせて制作に取り組む姿を見守ったり励ましたりし、自分達で取り組んだ充実感が味わえるようにする。</li> <li>・自然の変化や美しさに気付き、自分達の遊びに取り入れていけるように、自然に触れ合う機会をもつ。</li> <li>・身近な社会の様子に気付けるよう環境を整える。</li> <li>・経験したことや感動したことを自分なりに工夫して表現することができるように、いろいろな描画材料や制作材料を用意しておく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス全体が共通の話題や目的をもって活動する場所や時間を大切に作る。</li> <li>・クラス全体やグループで協同して取り組む楽しさや充実感を味わえるような機会を設ける。</li> <li>・感謝の気持ちを自分なりの言葉や行動で示せるように、お世話になった人や異年齢児と一緒に過ごす機会をつくる。</li> <li>・友達と過ごす楽しさを感じ、卒園までの時間を大切にしながら、園生活を楽しめるように援助する。</li> <li>・冬から春への季節の移り変わりの中で、自然事象との出会いをタイムリーにとらえ、気付きや発見を友達と共有できるような機会をもつ。</li> <li>・歌や合奏を通して、友達と心をひとつにして活動する楽しさや達成感を味わえるようにする。</li> </ul>	

その他の配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通して保育内容を写真や学年だよりで知らせるようにする。また、ホームページやSNSなどで必要な情報を発信する。</li> <li>・子育てに関する情報を随時発信する。毎月発行される県教委の「家庭教育の目標」や市幼保こども園課の「ばくばくだより・けんこうだより」等も活用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭での様子を聞いたり園での様子を伝えたりして保護者との信頼関係を築いていく。</li> <li>・小学校との交流の機会をもち、就学に向けて子ども達が期待感や親しみをもてるようにする。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級経営やクラスづくりの目標を伝え、懇談会では、保護者同士の親睦を図る。(幼)</li> <li>・前年度の担任からの引継ぎを行って新しい環境になじめるような環境構成や関わり方の工夫をする。(保・こ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会や異年齢交流など、いろいろな場面での年長児としてのがんばりを保護者にも伝え、子どもの成長を共に喜んだり、認めてもらったりする。</li> <li>・懇談会で子どもの様子や成長を知らせ、保護者と連携して子育てをしていけるようにする。</li> <li>・冬(休み)の過ごし方について、学年だよりなどで知らせる。</li> <li>・懇談会などで一年間の成長を知らせたり、就学に向けて話し合ったりする。</li> <li>・1年を振り返り評価することで、保育内容を検討し、結果を次年度に生かせるようにする。</li> </ul>

3. 4. 5歳児 子どもの姿

期	I (4月~5月)	II (6月~8月)	III (9月~10月)	IV (11月~12月)	V (1月~3月)
3歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者と離れるのを嫌がって泣く子どももいるが、しばらくするとほとんどは喜んで登園するようになる。</li> <li>・保育者に温かく受け入れられることで徐々に生活の流れが分かり、身の回りのことができるようになる。</li> <li>・みんなで歌ったり、絵本を見たりすることを喜ぶようになるが時によって、思いのままに行動をする子どももいる。</li> <li>・一人遊びが中心で、他児との関わりは少ない。目に付いた遊具や遊びの場所で興味のおもむくままに遊ぶ子どももいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園の生活に慣れてきて、安心できるようになったことで行動範囲が広がり活発になってくる。</li> <li>・友達の名前を覚えたり、同じ場で遊んだりして、友達に関心をもち始める。</li> <li>・玩具や遊び場の取り合いで友達同士のぶつかり合いが見られるなど、少しずつ自分の思いを出せるようになってくる。</li> <li>・気の合う友達と共に行動したり、好きな友達の動きをまねたりするようになる。</li> <li>・水遊びに興味をもち、それぞれに好きな遊びを楽しんでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と名前を呼び合ったり、遊びの中で言葉を交わし合ったりすることが増え、少しずつ気の合う友達ができる。</li> <li>・身の回りの始末や排泄などの基本的な生活習慣を自分でしようとするがまだ個人差が大きい。</li> <li>・友達と一緒に同じ遊びをする。</li> <li>・自分の思いや考えを通そうとして、トラブルになることもある。</li> <li>・走ったり跳んだりして、体を動かして遊ぶことを楽しみ、繰り返しやってみようとする。</li> <li>・簡単な約束が少しずつ理解できるようになり、守ろうとするようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の好きな遊びを見つけ、友達と誘い合って遊ぶ姿が見られる。</li> <li>・トラブルもあるが、気の合う友達と同じ遊びをしたり、同じ物を身に付けたりすることを楽しんでいる。</li> <li>・自分の気持ちや要求などを、保育者や友達に伝えようとする姿が見られ、言葉のやりとりも活発になる。</li> <li>・いろいろな遊びの中で、自分のイメージを言葉や動き、描画などでのびのびと表現することを楽しむようになる。</li> <li>・木の葉や木の実を拾ったり、集めたりするなど自然物に触れて遊んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思いを素直に出して表現したり、友達と関わったりするようになる。</li> <li>・気の合う友達に自分の思いを出せるようになり、子ども同士の会話が増えてくる。</li> <li>・進級への期待が高まり、身の回りのことや、生活に必要なことなど自分でできることが増え、そのことに喜びを感じて、取り組めるようになる。</li> <li>・友達と一緒に簡単なルールのある遊びを楽しむことができるようになる。</li> </ul>
4歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進級したことを喜ぶ姿が見られる反面、新しい環境に戸惑ったり、緊張から不安定になったりする子どももいる。</li> <li>・興味のある遊びを見つけ、友達を誘って遊ぶ姿が見られる。</li> <li>・新しい環境での過ごし方がわかってくると身の回りのことを自分でしようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達に親しみをもち、関わる姿が多く見られるようになる。その中で思いがぶつかり合い、トラブルになることもある。</li> <li>・身近な小動物や栽培物に親しみ、触れたり世話をしたりする。</li> <li>・水に触れたり、気持ちよさを感じたりしながら体全体を使って遊び、開放感を味わっている。</li> <li>・友達がしていることに興味をもち、自分もやってみようとしたりイメージを共有して遊ぼうとしたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園生活のリズムを取り戻し、生活に必要なことを自分でしようとする。(幼)</li> <li>・友達と関わる姿が多く見られるようになる。</li> <li>・戸外で思い切り体を動かして遊ぶことを楽しんでいる。</li> <li>・友達や保育者と曲に合わせて踊ったり、体操したりする。</li> <li>・友達と一緒に虫を捕まえたり、世話をしたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の興味や関心が広がり、自分なりにやろうとする態度ややってみようとする気持ちが見られる。</li> <li>・遊びの場が広がり、いろいろな経験を通してクラスの友達とのつながりを感じている。</li> <li>・身近な素材で遊びに使うものを工夫してつくり、互いに見せ合ったり、つくり方を教え合ったりしている。</li> <li>・友達と一緒に遊ぶ中で、自分の気持ちを相手に伝えて遊ぶようになってきている。</li> <li>・木の実や落ち葉を集めたり遊んだりして、秋の自然に親しんでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の経験が豊かになり、遊びにじっくり取り組み、新しい活動に進んで参加しようとする。</li> <li>・気の合う友達とのつながりを深め、友達と遊ぶ中でいろいろなイメージを膨らませたり、相手に自分の考えを伝えたりして、自分達で遊びを進められるようになる。</li> <li>・友達との関わりや遊びの中でトラブルが起きたときには、自分達で解決しようとする姿が見られる。</li> <li>・もうすぐ年長組になるという期待をもって生活している。</li> </ul>
5歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年長になったという喜びや自覚も見られるが、緊張感や不安感をもつ子どももいる。</li> <li>・新しいクラスや友達に次第に慣れ、安心して遊び、少しずつ自信をもって行動する姿が見られる。</li> <li>・身近な動植物に親しみ、積極的に関わろうとする。</li> <li>・異年齢の子ども達の世話を通し、関わりをもとうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス内の親しさが増し、友達を求める気持ちが強くなり、交流が広がると共に遊びの幅も広がっていく。</li> <li>・友達と一緒に、泥遊びやいろいろな水遊びを楽しみながら、繰り返し試したり、工夫したり、挑戦したりして遊ぶ姿が見られる。</li> <li>・身近な生き物に興味をもって関わり世話をしたり、図鑑で名前や飼い方、特徴を調べたりする。</li> <li>・栽培物の生長に関心をもち、世話をしたり収穫したりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と相談しながら自分達で遊びや場の構成などを決めながら遊ぶ姿が見られる。</li> <li>・力いっぱい体を動かすことを好み、自分なりの目標をもって、チャレンジしようとする気持ちが高まってくる。</li> <li>・友達と一緒に集団活動を展開できるようになってくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間意識が強まり、共通の目的に向かって力を合わせて活動に取り組むようになる。</li> <li>・友達と一緒に戸外で思いきり体を動かし、ルールのある遊びなどを自分達で進めていく姿が見られる。</li> <li>・友達同士認め合ったり、教え合ったりする姿が見られるようになる。また、遊びの中で起きたトラブルも少しずつ自分達で解決しようとする様子も見られるようになってくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物事に積極的に取り組み、友達と相談したり、工夫したりして活動を発展させるようになる。</li> <li>・自分なりの目的をもって、工夫したり繰り返し取り組んだりして達成感を味わうようになる。</li> <li>・身近な自然現象や社会事象などに対する関心が強くなる。</li> <li>・数や文字などに対し、興味や関心をもって遊びに取り入れようとする姿が見られる。</li> <li>・就学に向けて、喜びや期待の気持ちをもちながら、意欲的に園生活を送る姿が見られる。</li> </ul>